

令和3年9月8日 公告

古市住宅1号館建設工事

○設計図書の一部に誤りがありました。下記の正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤	正
図面No.203 伏図(1)A棟 図面No.253 伏図(1)B棟 伏図の修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.255 軸組図(1)B棟 基礎符号の一部修正	図示のとおり	図示のとおり
図面No.901、903～907 解体区域の修正	図示のとおり	図示のとおり
設計書 P.3 杭リストの一部修正	図示のとおり	図示のとおり

○数量内訳書の一部に表記誤りがありました。下記の正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤	正
直接工事費 細目別内訳 67 主体工事 土工事 摘要欄 12行目	流動化処理土埋戻し	セメントミルク埋戻し

面積表(公営住宅法による)

階 数	床面積(㎡)
14	678.367
13	678.365
12	678.365
11	678.365
10	1,075.958
9	1,075.958
8	1,075.958
7	1,075.958
6	1,075.958
5	1,143.716
4	1,143.716
3	1,143.716
2	1,143.716
1	1,140.768
計	13,808.884

・ 杭工法

場所打ちコンクリート杭

アースドリル拡底工法

杭径(mm)	杭施工長(m)	杭実長(m)	本数
Φ1,500～ Φ2,400	24.0	21.25	3
Φ1,500～ Φ2,100	24.0	21.55	9
Φ1,500～ Φ2,300	24.0	21.55	3
Φ1,500～ Φ1,800	24.0	21.25	1
Φ1,200～ Φ1,600	24.0	21.55	1
Φ1,800～ Φ2,500	38.0	35.15	5
Φ1,800～ Φ2,300	38.0	35.25	11
Φ1,800～ Φ2,400	38.0	35.25	4
Φ1,200～ Φ1,900	38.0	35.25	1
Φ1,200～ Φ1,700	38.0	35.25	2
計			40

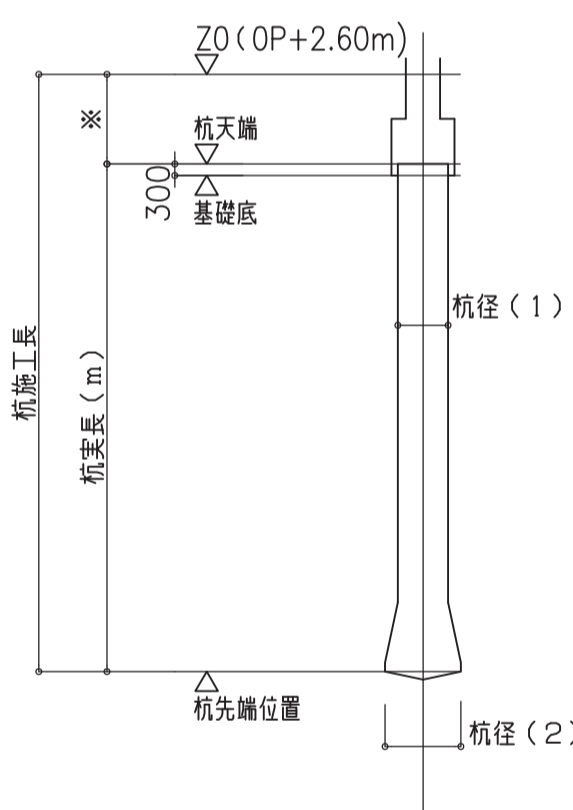
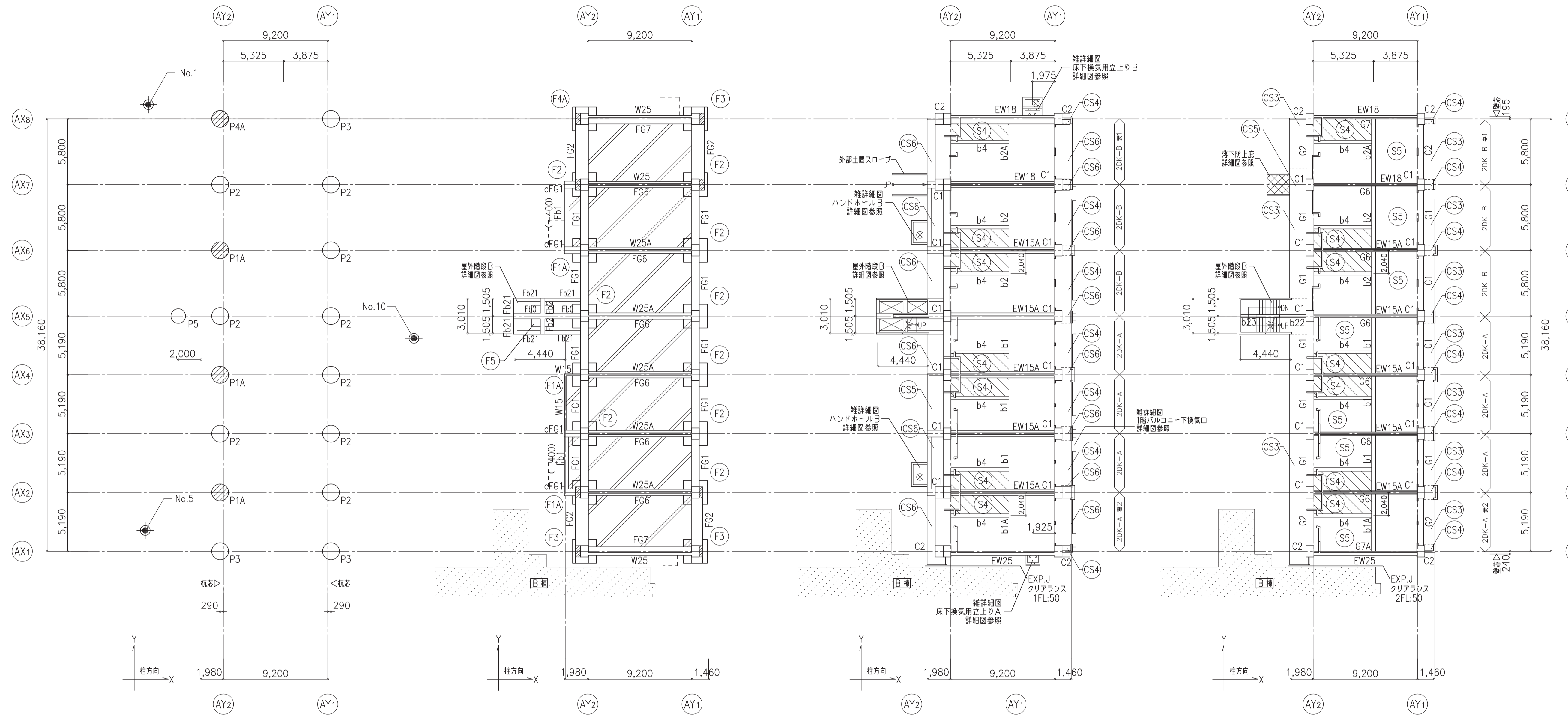
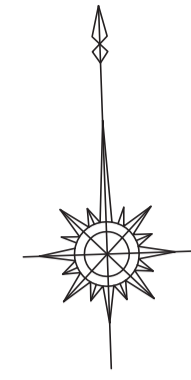
面積表(公営住宅法による)

階 数	床面積(㎡)
14	678.367
13	678.365
12	678.365
11	678.365
10	1,075.958
9	1,075.958
8	1,075.958
7	1,075.958
6	1,075.958
5	1,143.716
4	1,143.716
3	1,143.716
2	1,143.716
1	1,140.768
計	13,808.884

・杭工法

場所打ちコンクリート杭 アースドリル拡底工法

杭径(mm)	杭施工長(m)	杭実長(m)	本数
Φ 1,500～Φ 2,600	24.00	22.00	1
Φ 1,500～Φ 2,600	24.00	21.25	3
Φ 1,500～Φ 2,400	24.00	22.00	8
Φ 1,500～Φ 2,500	24.00	22.00	2
Φ 1,500～Φ 2,100	24.00	22.00	1
Φ 1,500～Φ 2,100	24.00	21.25	1
Φ 1,300～Φ 1,900	24.00	22.00	1
Φ 1,900～Φ 2,500	38.00	35.15	1
Φ 1,900～Φ 2,400	38.00	35.40	7
Φ 1,900～Φ 2,400	38.00	35.15	1
Φ 1,900～Φ 2,300	38.00	35.40	8
Φ 1,900～Φ 2,300	38.00	35.15	3
Φ 1,200～Φ 1,900	38.00	35.40	1
Φ 1,200～Φ 1,700	38.00	35.40	2
計			40



杭種：場所打ち鋼管コンクリート杭
 工法：アースドリル式拡底工法 杭径(2)は施工径を示す。

杭符号	杭径 (mm)	長期杭支持力 (kN/本)	杭天端レベル (m)	杭施工長 (m)	杭実長 (m)	本数
P1A	杭径(1):1,500 杭径(2):2,400	7,020	Z0-2.75	24.0	21.25	3
P2	杭径(1):1,500 杭径(2):2,100	6,010	Z0-2.45	24.0	21.55	9
P3	杭径(1):1,500 杭径(2):2,300	6,670	Z0-2.45	24.0	21.55	3
P4A	杭径(1):1,500 杭径(2):1,800	4,720	Z0-2.75	24.0	21.25	1
P5	杭径(1):1,200 杭径(2):1,600	3,730	Z0-2.45	24.0	21.55	1
合計						17

杭 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・杭天端レベルは、Z0-2,400とする。
 (◎表示はZ0-2,750)
 ・印はボリング調査位置を示す。
 ・印は試験杭を示す。
 ・本杭施工に先立って、試験杭の施工を行い、支持層天端レベルを確認し監督員の承認を得る。

基礎 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・本図は見下げ図とする。
 ・基礎梁はZ0±0とする。
 ・FG6,7基礎梁天端はZ0-400とする。
 ・()内数値はZ0からの基礎梁天端を示す。
 ・基礎小梁天端はリスト参照。
 ・Fb21については各詳細図参照。
 ・基礎下端はZ0-2,050とする。
 (F1A,F4AはZ0-3,050)
 ・印は柱梁増打ち範囲を示す。
 ・印は床下ピット範囲を示し、意匠図参照。

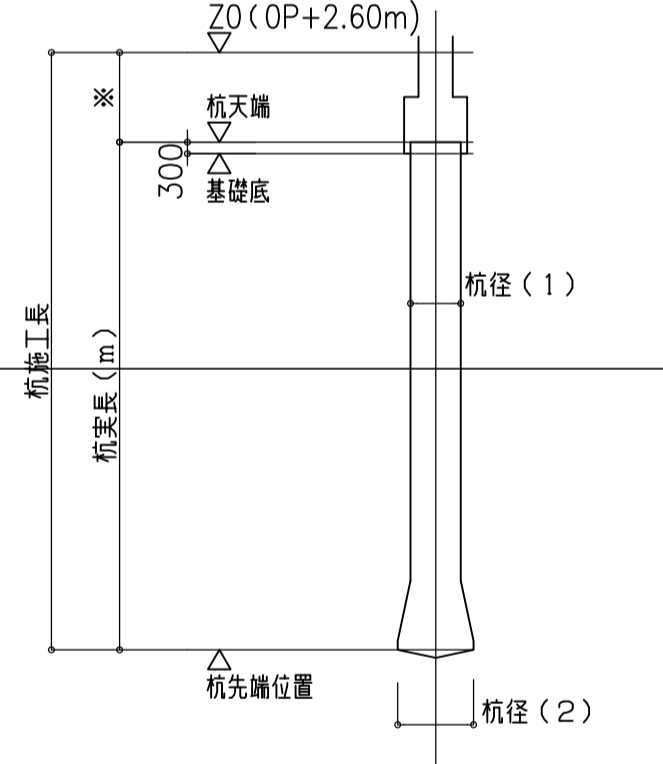
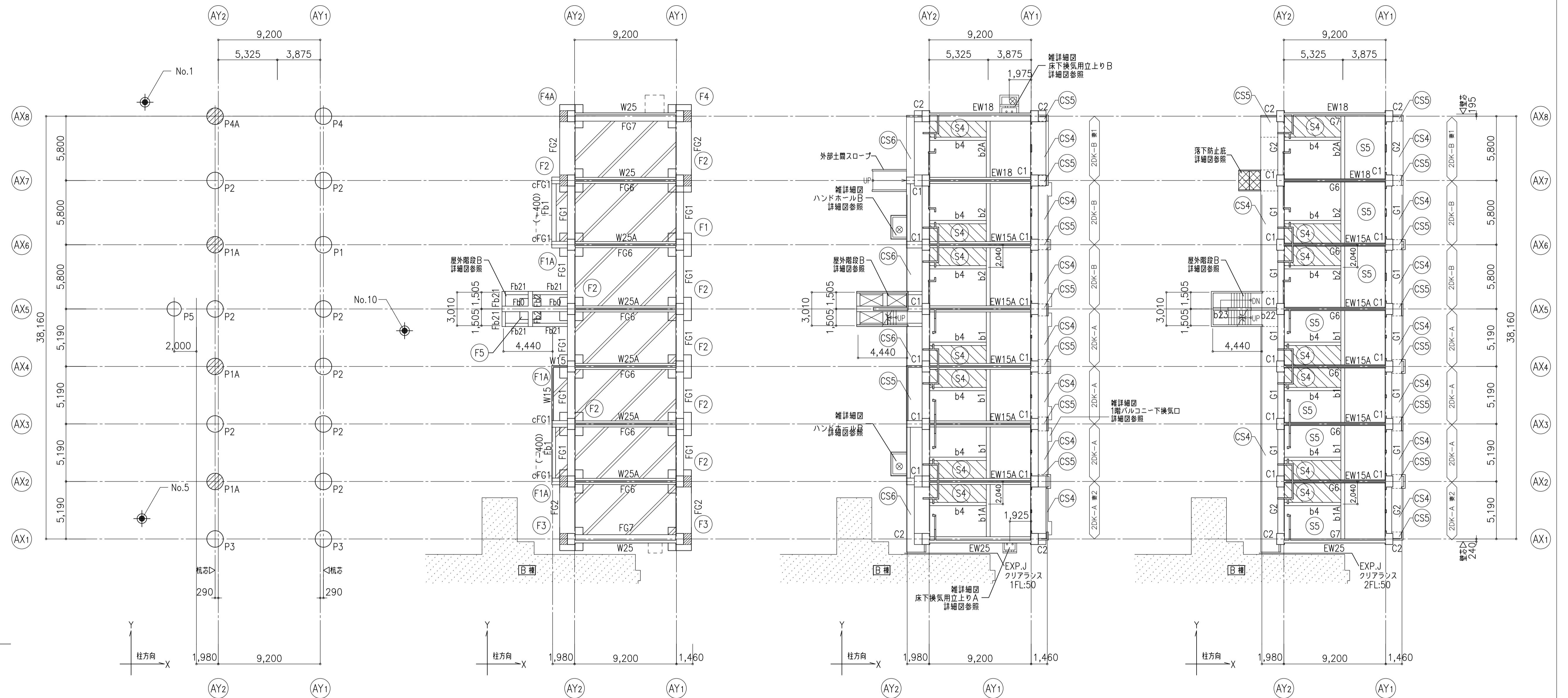
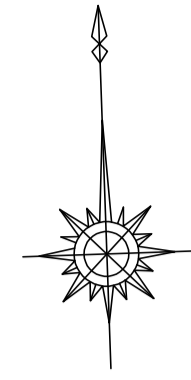
1階 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・スラブは◎とする
 ・スラブ天端レベル=Z1±0とする
 ・梁天端レベル=Z1±0とする
 ・壁はW12とする
 ・印表示はスラブ天=Z1-175とする
 ・印は柱梁増打ち範囲を示す

2階 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・スラブは◎とする
 ・スラブ天端レベル=Z2±0とする
 ・梁天端レベル=Z2±0とする
 ・壁はW12とする
 ・印表示はスラブ天=Z2-300とする
 ・印は柱梁増打ち範囲を示す

名称	古市住宅1号館建設工事	1/200	図中規模1/200
図面名称	伏図(1)A棟	製 図	令和3年4月
標準図番号	住棟	図面番号	No. 203 (枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所	



杭種：場所打ち鋼管コンクリート杭
工法：アースドリル式拡底工法 杭径(2)は施工径を示す。

杭符号	杭径 (mm)	長期杭支持力 (kN/本)	杭天端レベル (m)	杭施工長 (m)	杭実長 (m)	本数
P1	杭径(1):1,500 杭径(2):2,600	6,890	Z0-2.00	24.0	22.0	1
P1A	杭径(1):1,500 杭径(2):2,600	6,890	Z0-2.75	24.0	21.25	3
P2	杭径(1):1,500 杭径(2):2,400	5,890	Z0-2.00	24.0	22.0	8
P3	杭径(1):1,500 杭径(2):2,500	6,380	Z0-2.00	24.0	22.0	2
P4	杭径(1):1,500 杭径(2):2,100	4,550	Z0-2.00	24.0	22.0	1
P4A	杭径(1):1,500 杭径(2):2,100	4,550	Z0-2.75	24.0	21.25	1
P5	杭径(1):1,300 杭径(2):1,900	3,800	Z0-2.00	24.0	22.0	1
合計						17

杭 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・杭天端レベルは、Z0-2,000とする。
 (◎表示はZ0-2,750)
 ・印はボーリング調査位置を示す。
 ・印は試験杭を示す。
 ・本杭施工に先立って、試験杭の施工を行い、支持層天端レベルを確認し監督員の承認を得る。

基礎 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・本図は見下がりとする。
 ・基礎梁天はZ0±0とする。
 ・FG6,7基礎梁天端はZ0-400とする。
 ・()内数値はZ0からの基礎梁天端を示す。
 ・基礎小梁天端はリスト参照。
 ・Fb21については各詳細図参照。
 ・基礎下端はZ0-2,300とする。
 (F1A,F4AはZ0-3,050)
 ・印は柱梁増打ち範囲を示す。
 ・印は床下ピット範囲を示し、意匠図参照。

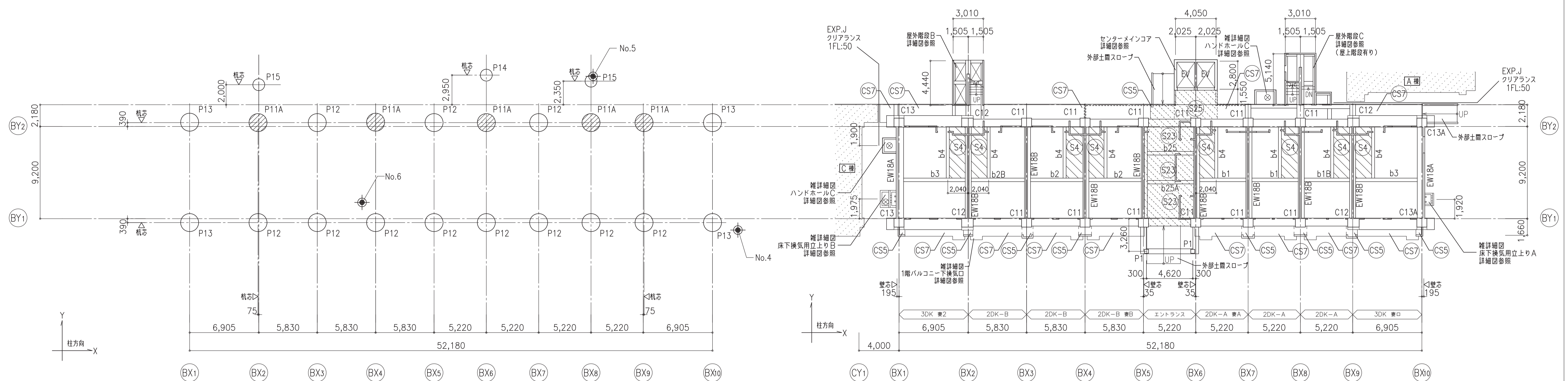
1階 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・スラブは◎とする
 ・スラブ天端レベル=Z1±0とする
 ・梁天端レベル=Z1±0とする
 ・壁はW12とする
 ・印表示はスラブ天=Z1-175とする
 ・印は柱梁増打ち範囲を示す

2階 伏図 1/200

特記なき限り下記による
 ・スラブは◎とする
 ・スラブ天端レベル=Z2±0とする
 ・梁天端レベル=Z2±0とする
 ・壁はW12とする
 ・印表示はスラブ天=Z2-300とする
 ・印は柱梁増打ち範囲を示す

名称	古市住宅1号館建設工事	1/200	図中箇所A1
図面名称	伏図(1)A棟	製図	令和3年4月
標準図番号	住棟	図面番号	No. 203 (枚の内)
大坂市都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社 遠藤衛生建築設計事務所	



杭伏図 1:200

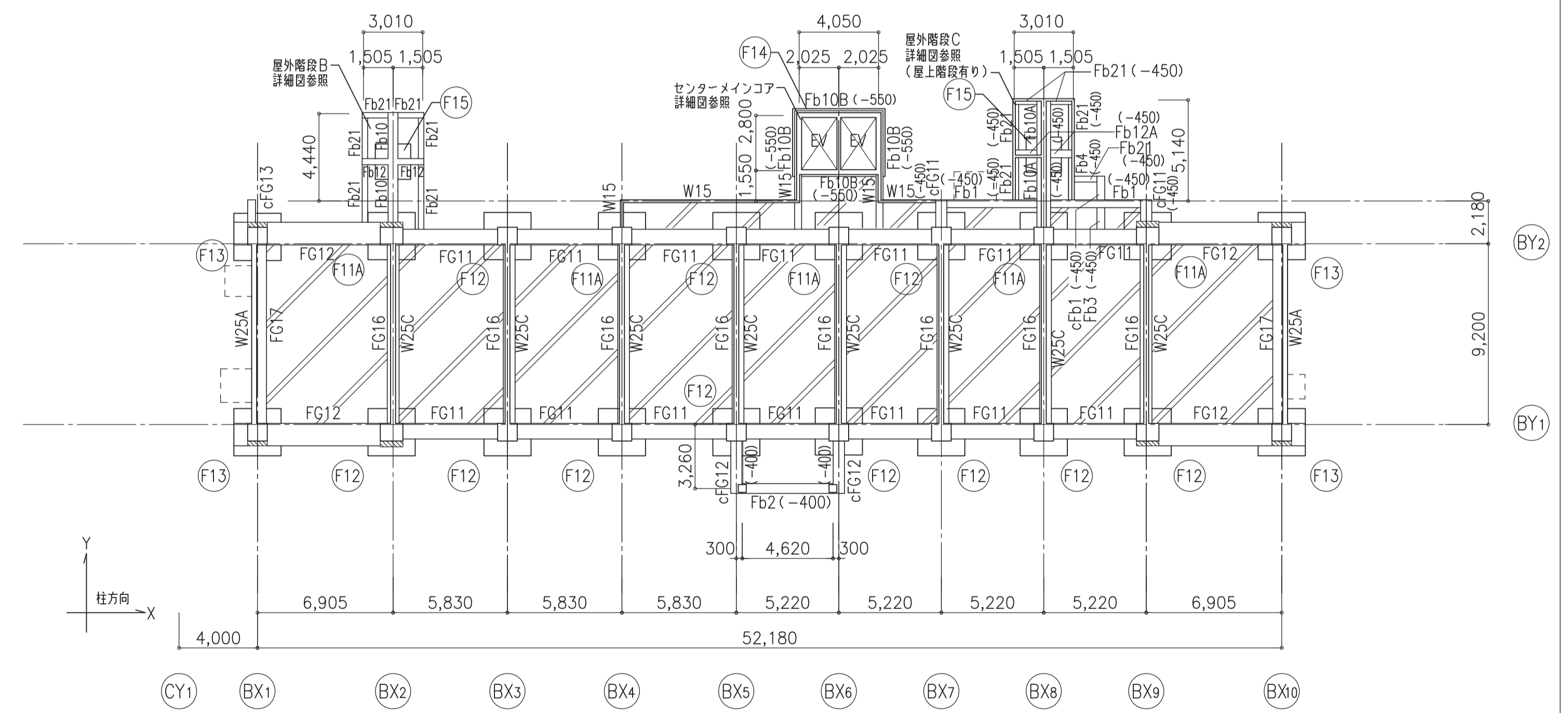
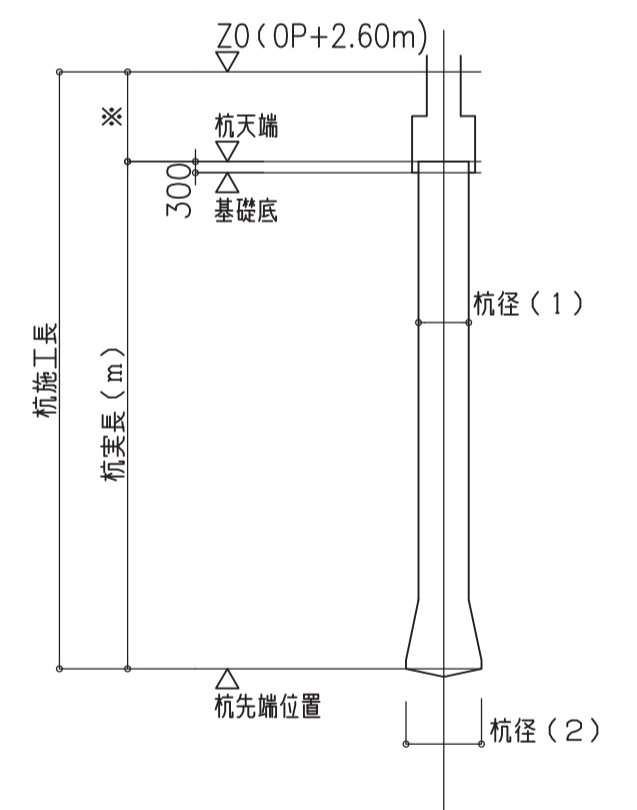
1階伏図 1:200

特記なき限り下記による
 ・杭天端レベルは、Z0-2,750とする。
 (○)表示はZ0-2,850
 ●印はボーリング調査位置を示す。
 ⊗は試験杭を示す。
 ・本杭施工に先立って、試験杭の施工を行い、
 支持層天端レベルを確認し監督員の承認を得る。

特記なき限り下記による
 ・スラブは(○)とする
 ・スラブ天端レベル=Z1±0とする
 ・梁天端レベル=Z1±0とする
 ・壁はW12とする
 ⊗部は柱梁増打ち範囲を示す。
 ⊗表示はスラブ天=Z1-175とする
 ⊗表示はスラブ天=Z1-20とする

杭種：場所打ち鋼管コンクリート杭
 工法：アースドリル式縮底工法 杭径(2)は施工径を示す。

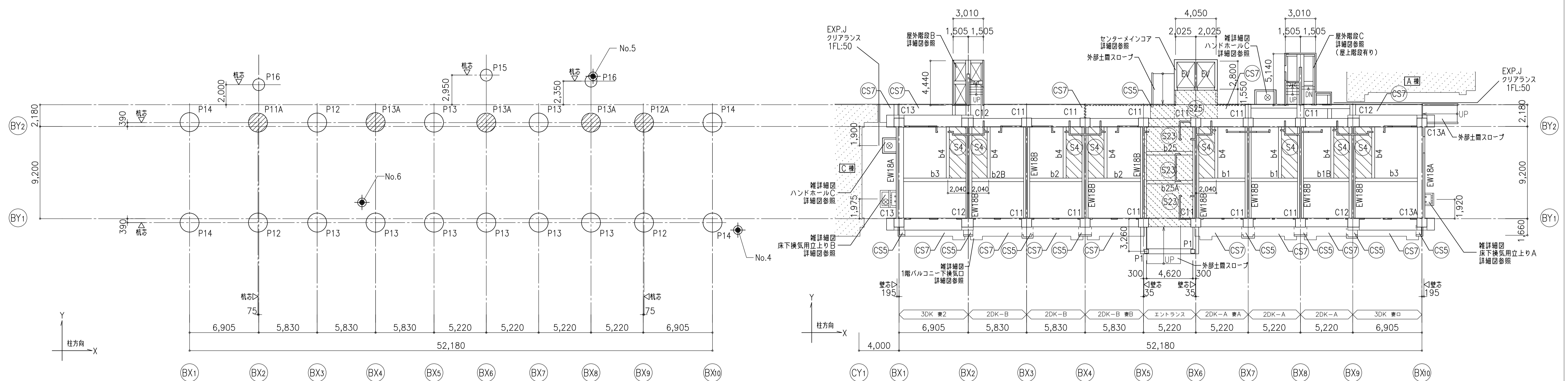
杭符号	杭径 (mm)	長期杭支持力 (kN/本)	杭天端レベル (m)	杭施工長 (m)	杭実長 (m)	本数
P11A	杭径(1):1,800	11,300	Z0-2.85	38.0	35.15	5
	杭径(2):2,500					
P12	杭径(1):1,800	9,490	Z0-2.75	38.0	35.25	11
	杭径(2):2,300					
P13	杭径(1):1,800	10,380	Z0-2.75	38.0	35.25	4
	杭径(2):2,400					
P14	杭径(1):1,200	6,350	Z0-2.75	38.0	35.25	1
	杭径(2):1,900					
P15	杭径(1):1,200	5,020	Z0-2.75	38.0	35.25	2
	杭径(2):1,700					
合計						23



基礎伏図 1:200

特記なき限り下記による
 ・本図は見下げ図とする。
 ・基礎梁天はZ0±0とする。
 ・FG16,17 基礎梁天端はZ0-400とする。
 ()内数値はZ0からの基礎梁天端を示す。
 ・基礎小梁天端はリスト参照。
 ・Fb21については各詳細図参照。
 ・基礎下端はZ0-3,050とする。
 (F11AはZ0-3,150)
 ⊗部は柱梁増打ち範囲を示す。
 ⊗部は床下ピット範囲を示し、意匠図参照。

名称	古市住宅1号館建設工事	1/200	図面番号AT
図面名称	伏図(1)B棟	製 図	令和3年4月
標準図号	住棟	図面番号	No. 253 (枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 通商衛生建築設計事務所	



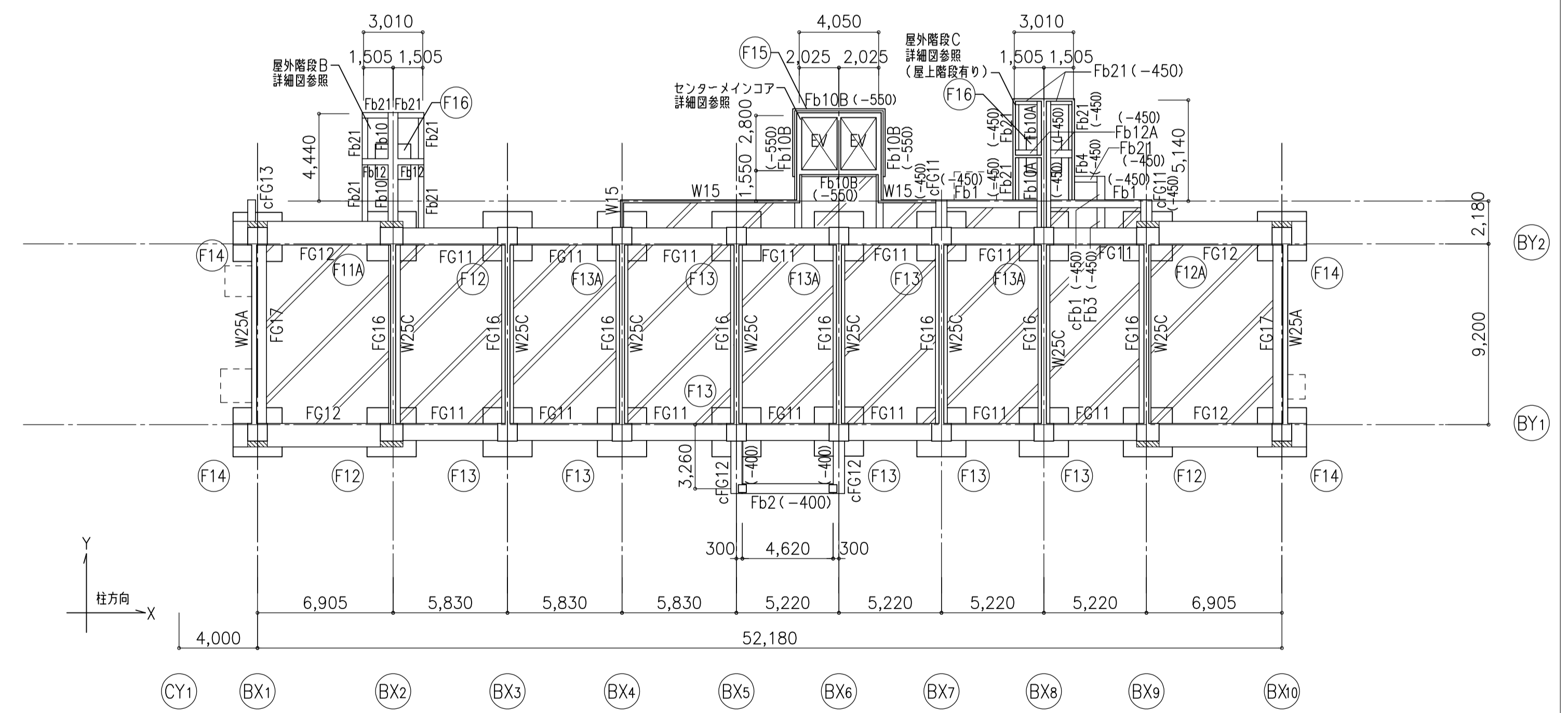
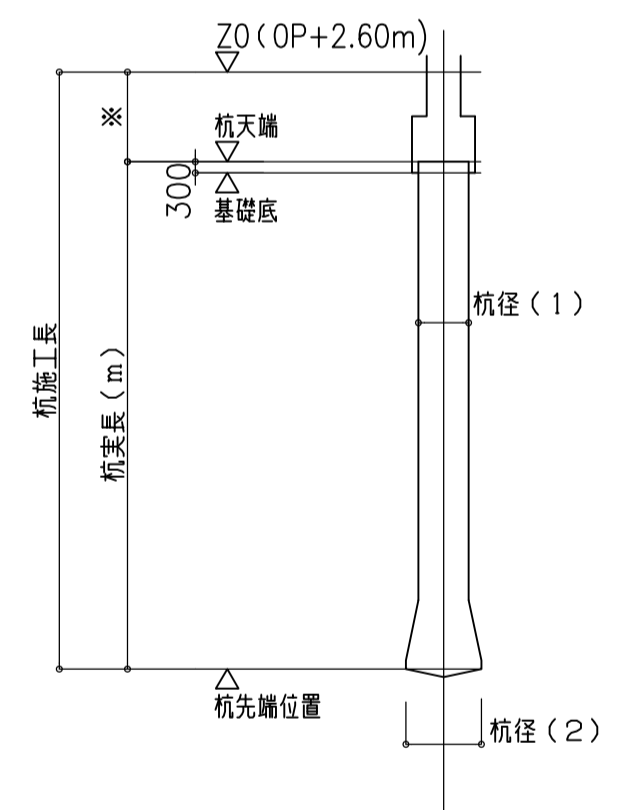
杭 伏図 1:200

1階 伏図 1:200

特記なき限り下記による
 ・杭天端レベルは、Z0-2,600とする。
 ・(○)表示はZ0-2,850
 ・●印はボアリング調査位置を示す。
 ・⊗は試験杭を示す。
 ・本杭施工に先立って、試験杭の施工を行い、
 支持層天端レベルを確認し監督員の承認を得る。

特記なき限り下記による
 ・スラブは(○)とする
 ・スラブ天端レベル=Z1±0とする
 ・梁天端レベル=Z1±0とする
 ・壁はW12とする
 ・斜線部は柱梁増打ち範囲を示す。
 ・斜線表示はスラブ天=Z1-175とする
 ・斜線表示はスラブ天=Z1-20とする

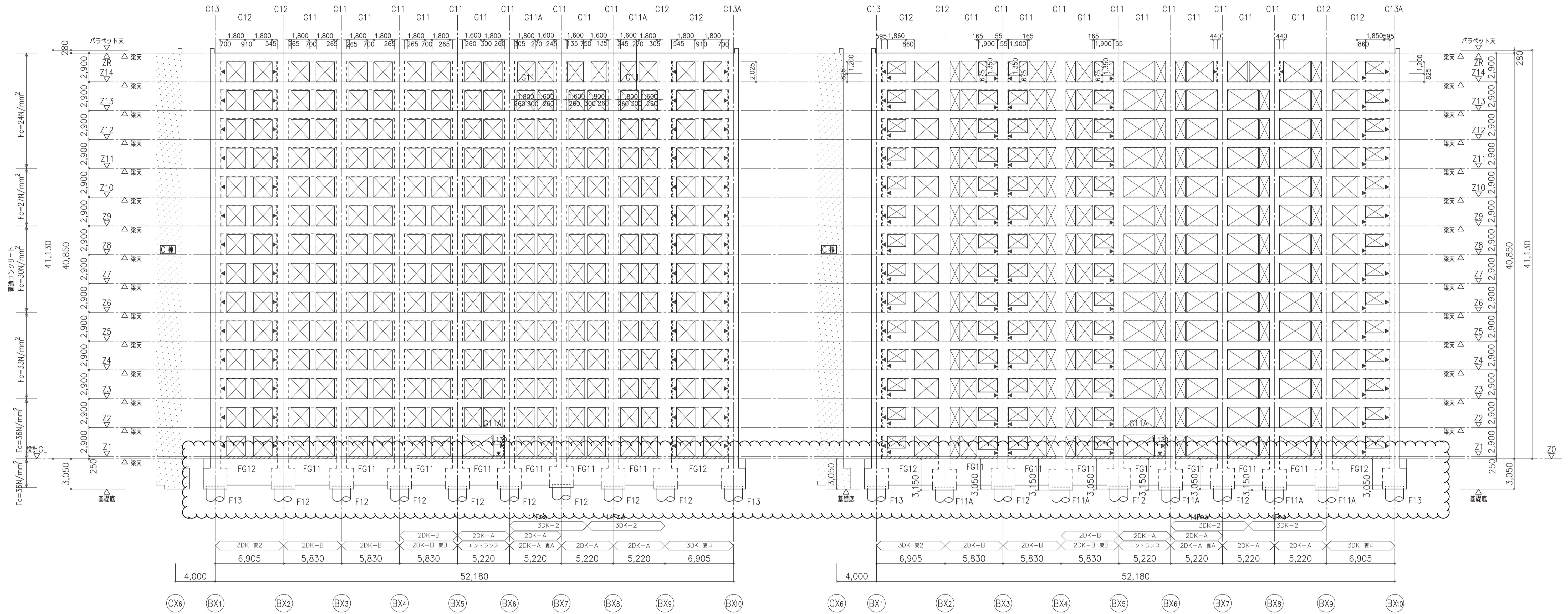
杭種：場所打ち鋼管コンクリート杭 工法：アースドリル式底底工法 杭径(2)は施工径を示す。						
杭符号	杭径 (mm)	長期杭支持力 (kN/本)	杭天端レベル (m)	杭施工長 (m)	杭表長 (m)	本数
P11A	杭径(1):1,900 杭径(2):2,500	11,230	Z0-2.85	38.0	35.15	1
P12	杭径(1):1,900 杭径(2):2,400	10,380	Z0-2.60	38.0	35.4	3
P12A	杭径(1):1,900 杭径(2):2,400	10,380	Z0-2.85	38.0	35.15	1
P13	杭径(1):1,900 杭径(2):2,300	9,490	Z0-2.60	38.0	35.4	8
P13A	杭径(1):1,900 杭径(2):2,300	9,490	Z0-2.85	38.0	35.15	3
P14	杭径(1):1,900 杭径(2):2,400	10,380	Z0-2.60	38.0	35.4	4
P15	杭径(1):1,200 杭径(2):1,900	6,090	Z0-2.60	38.0	35.4	1
P16	杭径(1):1,200 杭径(2):1,700	5,020	Z0-2.60	38.0	35.4	2
合計						23



基礎 伏図 1:200

特記なき限り下記による
 ・本図は見下げ図とする。
 ・基礎梁天はZ0±0とする。
 ・FG16,17 基礎梁天端はZ0-400とする。
 ・()内数値はZ0からの基礎梁天端を示す。
 ・基礎小梁天端はリスト参照。
 ・Fb21については各詳細図参照。
 ・基礎下端はZ0-2,900とする。
 ・(F11A,F12A,F13AはZ0-3,150)
 ・斜線部は柱梁増打ち範囲を示す。
 ・斜線部は床下ピット範囲を示し、意匠図参照。

名称	古市住宅1号館建設工事	1/200	図面番号AT
図面名称	伏図(1)B棟	製 図	令和3年4月
標準図番号	住棟	図面番号	No. 253 (枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所	



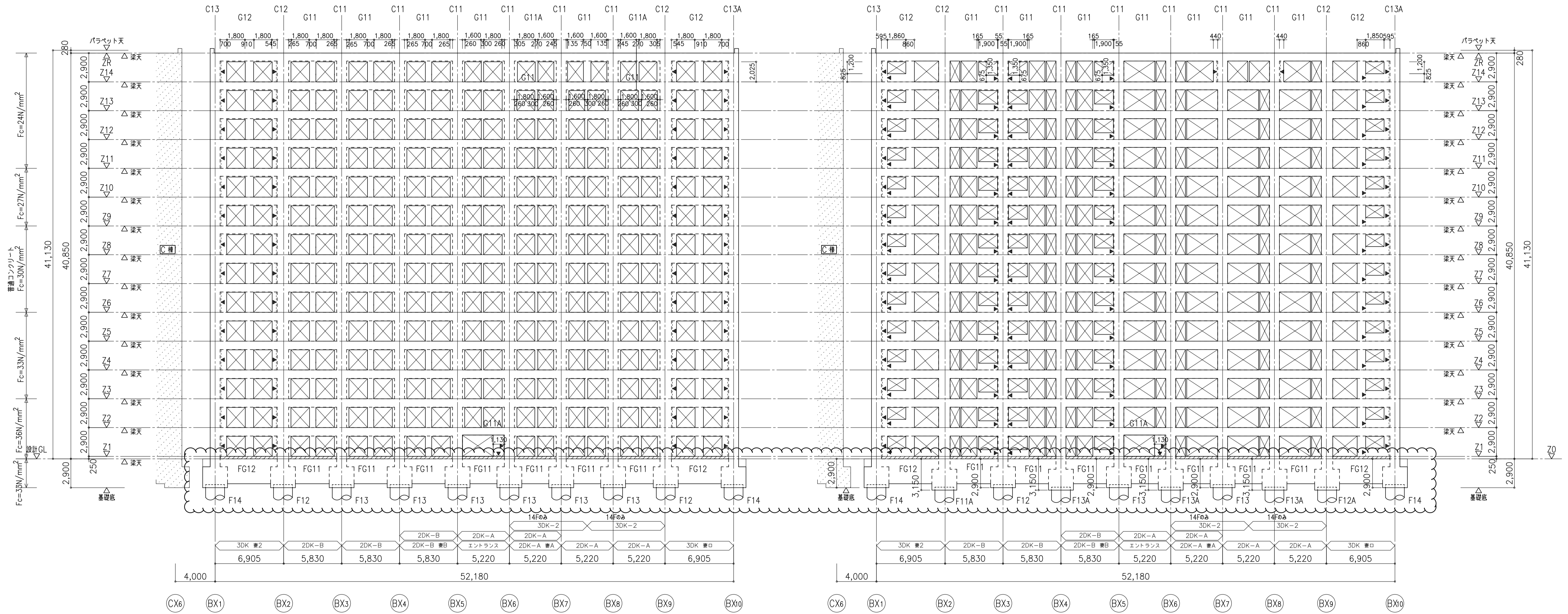
(BY1) 通 軸組図 1/200

(BY2) 通 軸組図 1/200

<共通> 特記なき限り下記による

- ・壁はW12とする
- ・表示は増打を示す
- ・部材符号は上階に準ずること

名称	古市住宅1号館建設工事	1/200	図面番号	AT
図面名称	軸組図(1) B棟	製 図	令和 3 年 4 月	
標準図番号	住棟	図面番号	No. 255	(枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 通商剛生建築設計事務所		



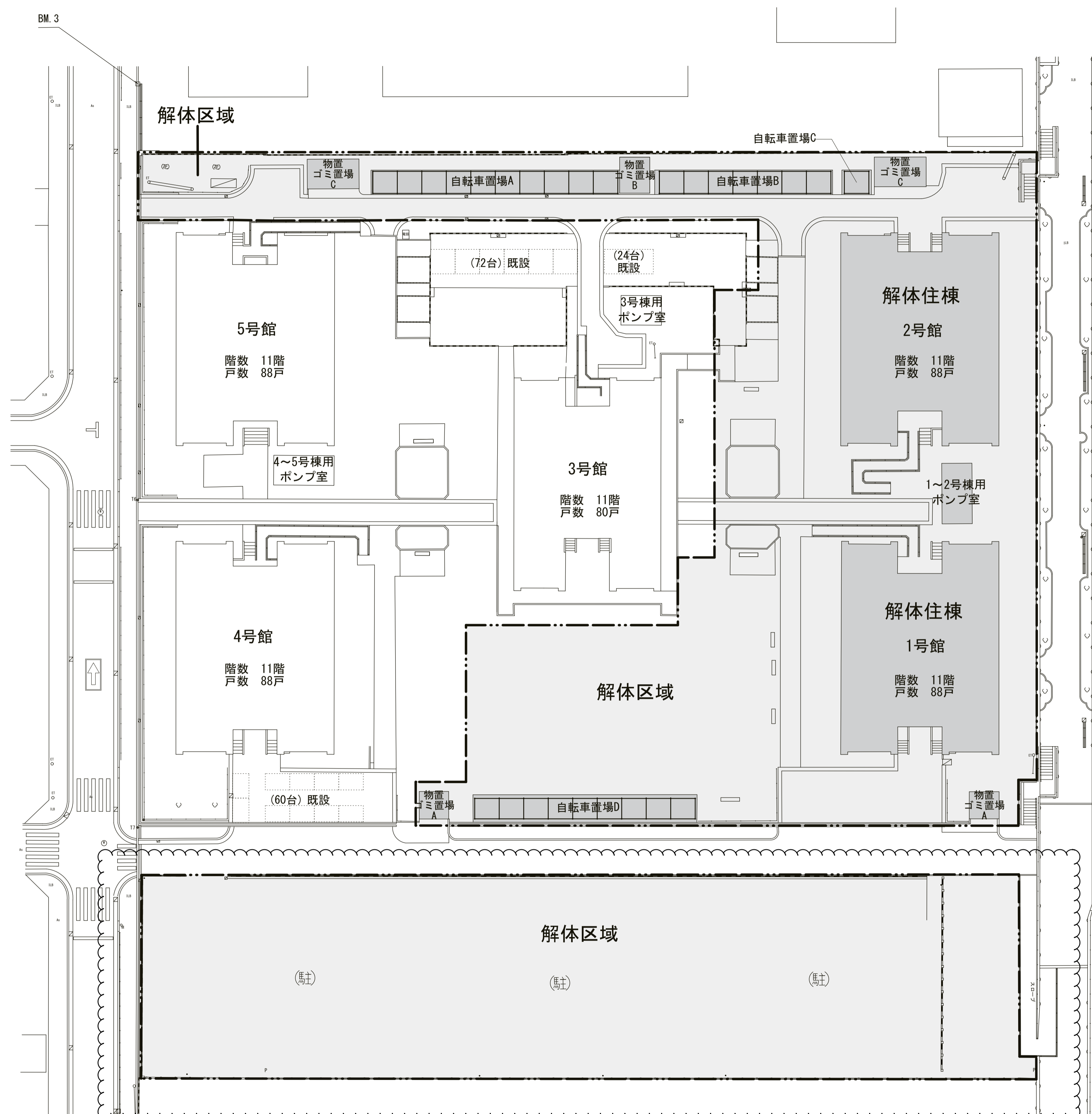
(BY1) 通 軸組図 1/200

(BY2) 通 軸組図 1/200

<共通> 特記なき限り下記による

- ・壁はW12とする
- ・表示は増打を示す
- ・部材符号は上階に準ずること

名称	古市住宅1号館建設工事	1/200	図面番号 AT
図面名称	軸組図(1) B棟	製 図	令和 3 年 4 月
標準図番号	住棟	図面番号	No. 255 (枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所	



(凡例)

解体工事範囲を示す。
 図示建屋の解体撤去を行う。なお、住棟の基礎撤去レベルはSGL-0 (SGL=図中GL)を原則とし、詳細は976_地中障害撤去図によること。
 その他付属物等 付属建物(特記なき限り基礎を含む。)その他付属物(木柵・鉄柵・門柱・緑石・側溝・樹木・防犯灯・土間コンクリート・ネットフェンス・敷石生垣・ブロック塀・塩ビ小波屋根・スロープ・遊具・ベンチ(その他図示による))の撤去工事も本工事に含む。(道路緑石は除く)

アスベスト含有建材使用箇所表

室名	部位	仕様	室名	部位	仕様	
外部	外壁	指定剤(リシン吹付)	玄関	上り框	塩化ビニール	
	バルコニー	天井	指定剤(リシン吹付)	便所	巾木	塩化ビニールシート 厚2.5mm
		クレーン取付枠	フレキシブルボード 厚5mm		床	塩化ビニールシート 厚2.5mm
共用廊下	天井	指定剤(リシン吹付)	浴槽	天井	フレキシブルボード	
	壁	指定剤(リシン吹付)		釜焚口	フレキシブルボード	
	梁型	指定剤(リシン吹付)	台所食堂	床	塩化ビニール系 タイル貼 厚2mm	
天井	指定剤(リシン吹付)	スクリーン		フレキシブルボード 厚5mm		
階段室	壁	指定剤(リシン吹付)	和室	襖	襖紙	
	梁型	指定剤(リシン吹付)				

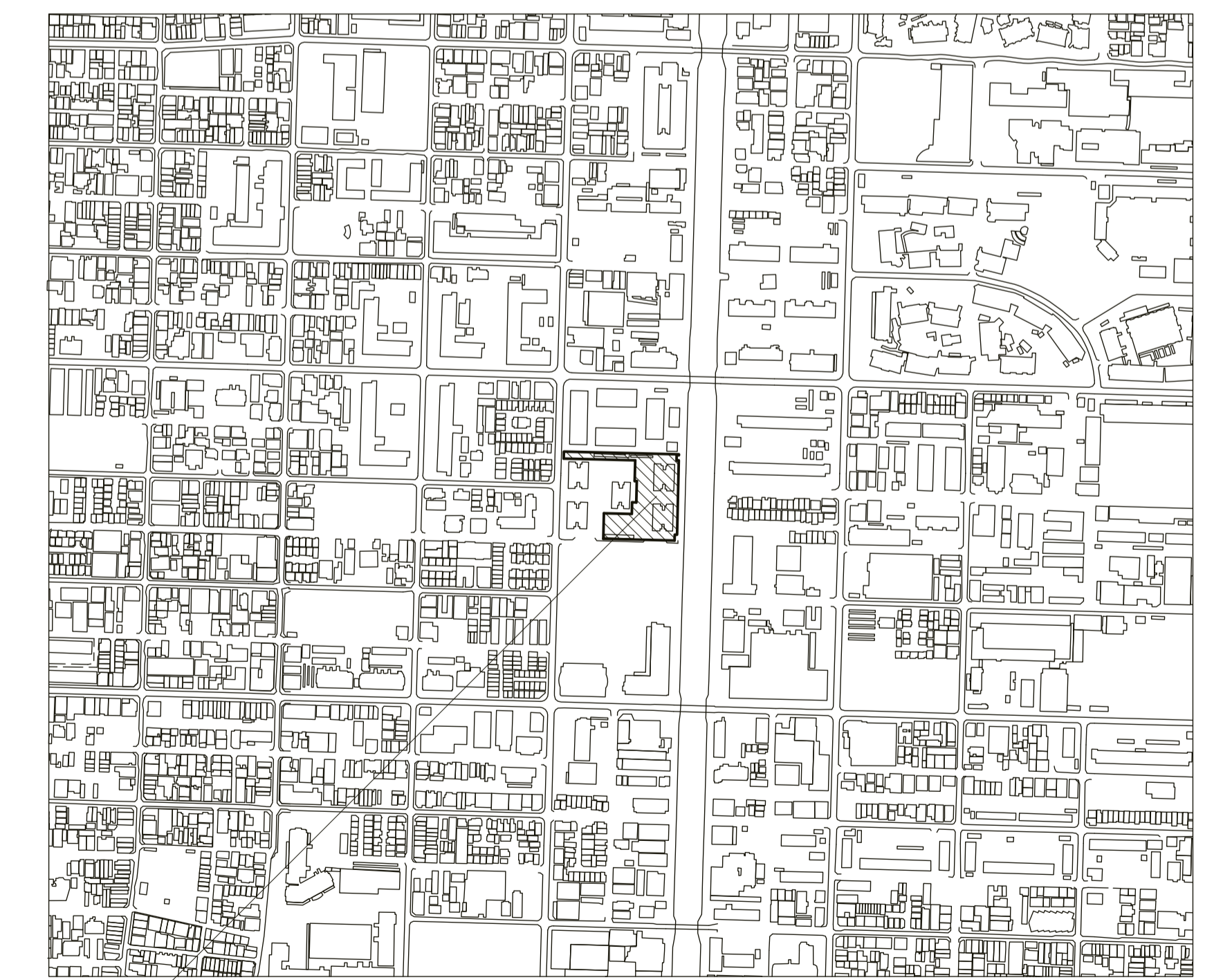
・アスベスト含有建材の撤去処分にあたっては、関係法令等(石綿障害予防規制、非散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針等)を遵守し、適切に撤去処分すること。
 [斜線]及び[点線]はアスベスト含有建材使用箇所を示す。
 ・本工事図面のほか、自ら行った情報収集や現場確認等を行い、アスベストの処理計画書の作成・提出をすること。

解体撤去工事 床面積等概要

名称	概要	面積	
		1号棟(88戸)	2号棟(88戸)
住棟	SRC造 11階建 2棟	3318.48 m ² (37.71 m ² /戸)	3318.48 m ² (37.71 m ² /戸)
		小計	6636.96 m ²
		住棟共用部	廊下、階段、EVホール
付属棟	ポンプ室 RC造1棟	25.20 m ²	
	駐輪場 鉄骨造4棟	60 m ² + 42 m ² + 6 m ² + 67.5 m ² = 175.5 m ²	
	ゴミ置場 ブロック造5棟	11.04 m ² × 2 + 15.18 m ² × 1 + 21.22 m ² × 2 = 79.7 m ²	
総床面積		9166.56 m ²	
敷地面積		12439.34 m ²	

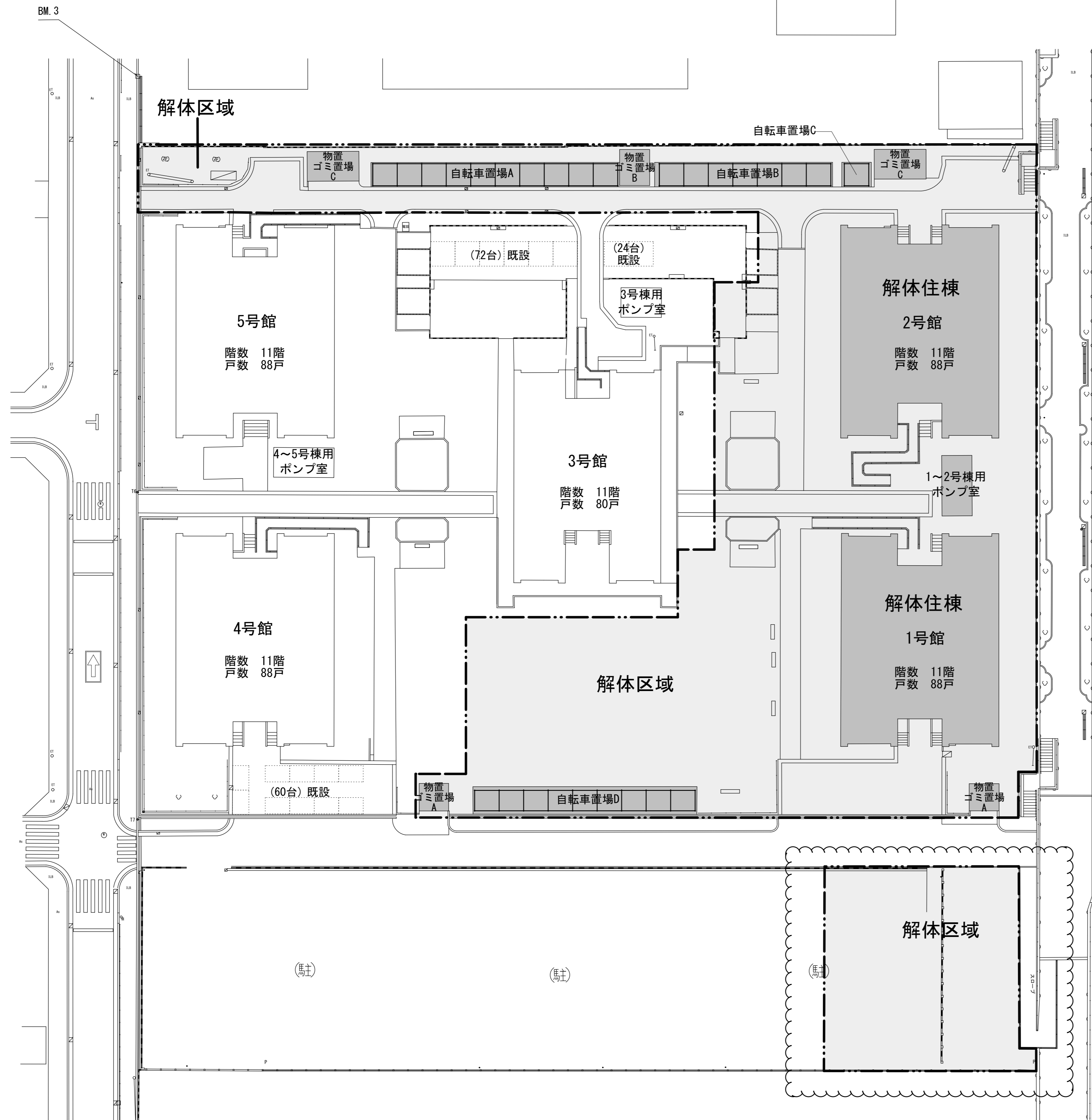
- ・ 図示範囲(撤去配置図)の解体撤去工事を行う。
- ・ 工事範囲内にある廃棄物(一般廃棄物、家電廃棄物)については関係法令に従って適切に処分すること。(11,522m²)
- ・ 解体工事における既存地中構造躯体の調査
 - ・ 基礎・地中梁調査 点線の基礎、地中梁について、形状、深さ寸法の調査及び写真撮影を行い、報告書を提示すること
 - ・ 杭種・杭径調査 実線の範囲の基礎9mを撤去処分し、既存杭の種類、寸法の調査及び写真撮影を行い、報告書を提示すること
 - ・ 杭長調査 ×点の既存杭の位置を確認後、監督員の指示する位置に、探査孔の削孔GL-2mまで行うこと
 - 掘削した探査孔から速度検層(P派検層)を行い、既存杭全長(GL-22程度)の掘入れ深度調査を行うこと
 - 調査結果については、反応データ、測定記録等の既存杭の深度を推定した根拠となるものをまとめた報告書を提示すること
 - 調査後、深査孔をセメントミルク等で閉塞すること
 - 調査後、場内掘削土で埋戻しを行うこと
- ・ 埋戻し

附近見取図 1:5000



工事場所 大阪府大阪市城東区関目2丁目

名称	古市住宅1号館建設工事	図面番号	A1
図面名称	附近見取図・工事概要・配置図	製図	令和3年4月
標準図番号	住棟	図面番号	No. 901
大阪府都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社 通商衛生建築設計事務所	



(凡例)

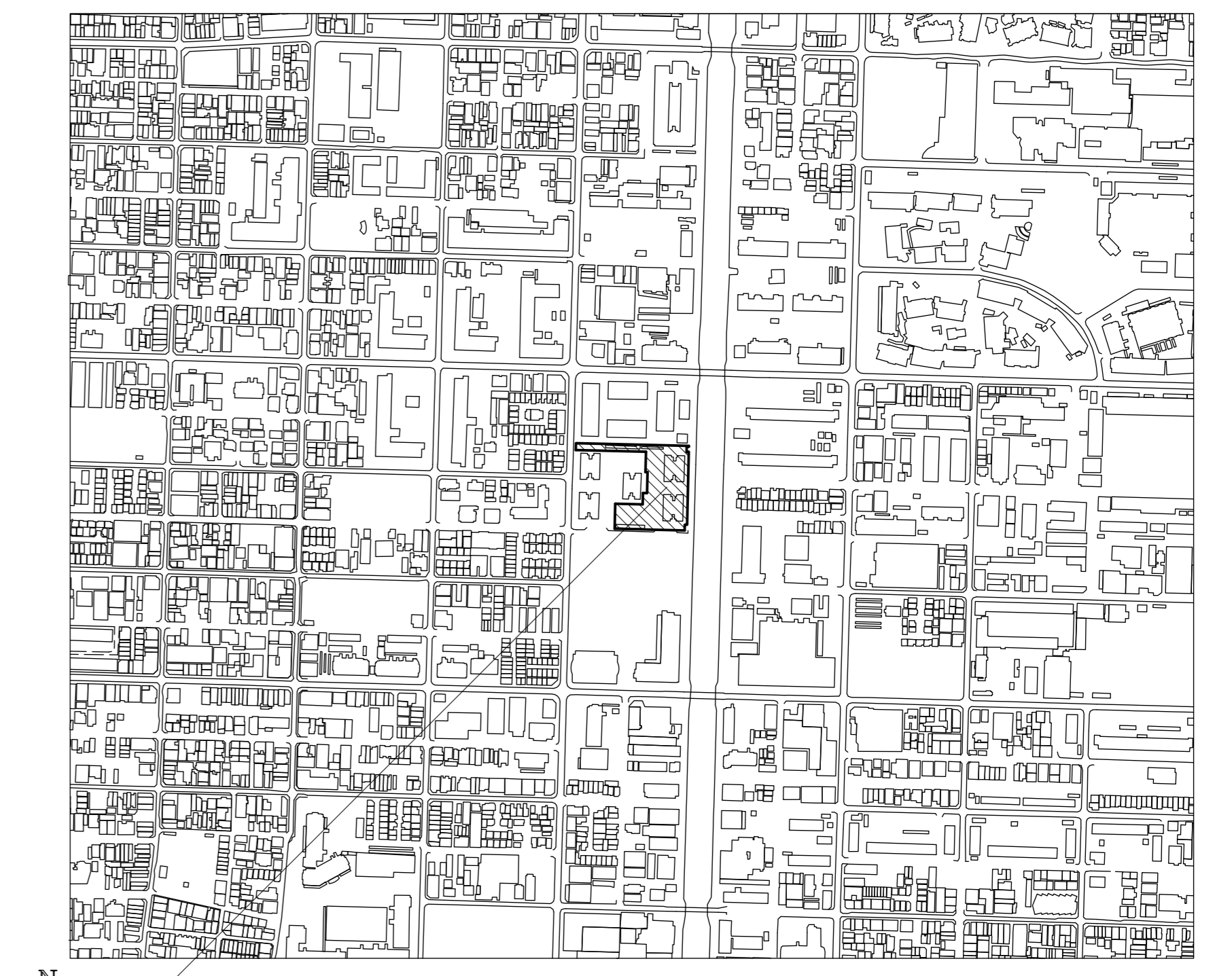
解体工事範囲を示す。
 図示建屋の解体撤去を行う。なお、住棟の基礎撤去レベルはSGL-0 (SGL=図中GL)を原則とし、詳細は976_地中障害撤去図によること。
 その他付属物等 付属建物(特記なき限り基礎を含む。)その他付属物(木柵・鉄柵・門柱・緑石・側溝・樹木・防犯灯・土間コンクリート・ネットフェンス・敷石生垣・ブロック塀・塩ビ小波屋根・スロープ・遊具・ベンチ(その他図示による))の撤去工事も本工事に含む。(道路緑石は除く)

室名	部位	仕様	室名	部位	仕様	
外部	外壁	指定剤(リシン吹付)	玄関	上り框	塩化ビニール	
	バルコニ	天井	指定剤(リシン吹付)	便所	巾木	塩化ビニールシート 厚2.5mm
		クレーン取付枠	フレキシブルボード 厚5mm		床	塩化ビニールシート 厚2.5mm
共用廊下	天井	指定剤(リシン吹付)	浴槽	天井	フレキシブルボード	
	壁	指定剤(リシン吹付)		釜焚口	フレキシブルボード	
	梁型	指定剤(リシン吹付)	台所食堂	床	塩化ビニール系 タイル貼 厚2mm	
天井	指定剤(リシン吹付)	スクリーン		フレキシブルボード 厚5mm		
階段室	壁	指定剤(リシン吹付)	和室	襖	襖紙	
	梁型	指定剤(リシン吹付)				

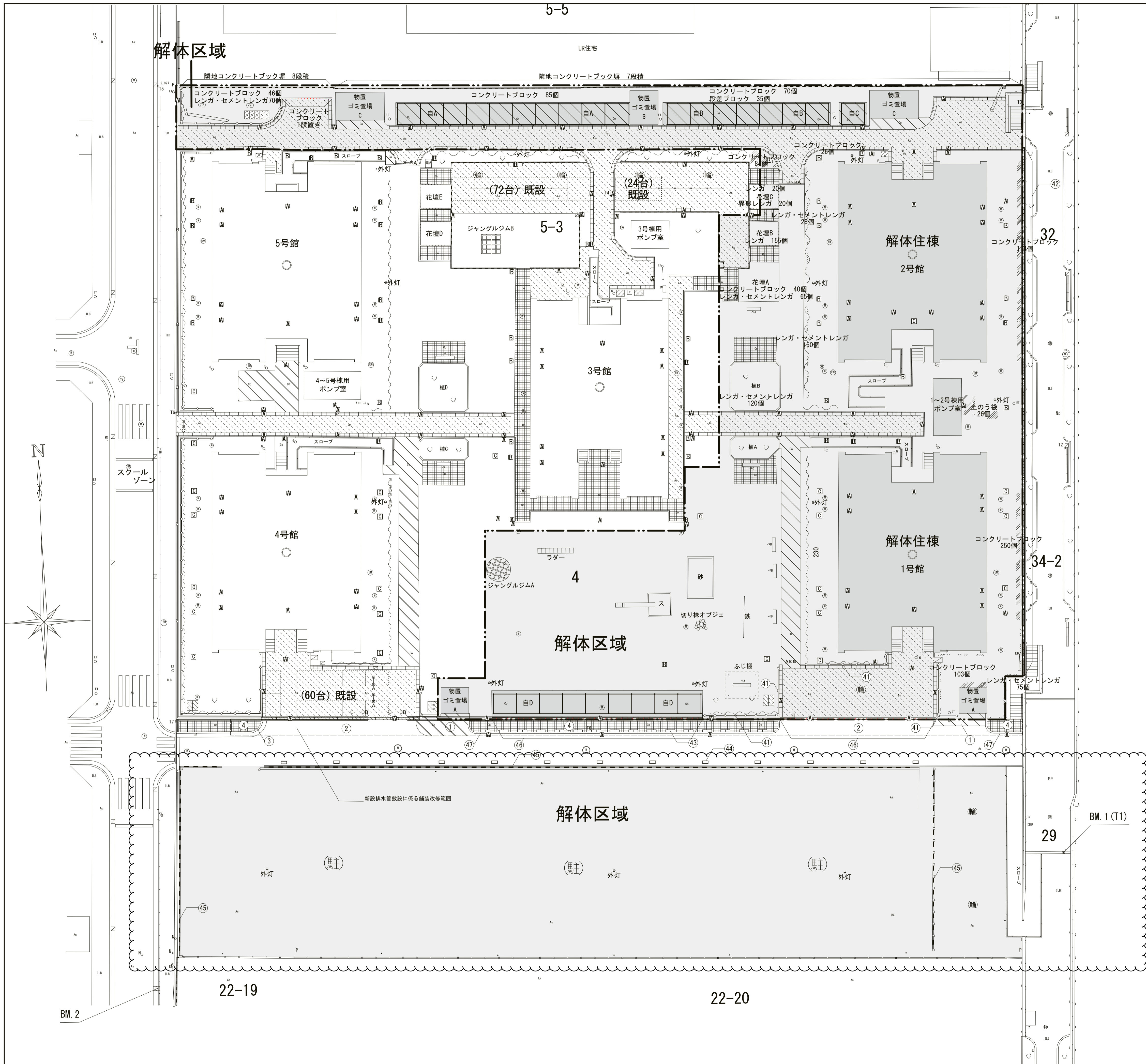
・アスベスト含有建材の撤去処分にあたっては、関係法令等(石棉障害予防規制、非散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針等)を遵守し、適切に撤去処分すること。
 ・及びはアスベスト含有建材使用範囲を示す。
 ・本工事図面のほか、自ら行った情報収集や現場確認等を行い、アスベストの処理計画書の作成・提出をすること。

名称	概要	面積	
		1号棟(88戸)	2号棟(88戸)
住棟	SRC造 11階建 2棟	3318.48 m ² (37.71 m ² /戸)	3318.48 m ² (37.71 m ² /戸)
		小計	6636.96 m ²
		住棟共用部	廊下、階段、EVホール
付属棟	ポンプ室 RC造1棟	25.20 m ²	
	駐輪場 鉄骨造4棟	60 m ² + 42 m ² + 6 m ² + 67.5 m ² = 175.5 m ²	
	ゴミ置場 ブロック造5棟	11.04 m ² × 2 + 15.18 m ² × 1 + 21.22 m ² × 2 = 79.7 m ²	
総床面積		9166.56 m ²	
敷地面積		12439.34 m ²	

- ・図示範囲(撤去配置図)の解体撤去工事を行う。
- ・工事範囲内にある廃棄物(一般廃棄物、家電廃棄物)については関係法令に従って適切に処分すること。(11,522m²)
- ・解体工事における既存地中構造躯体の調査
 - ・基礎・地中梁調査 点線の基礎、地中梁について、形状、深さ寸法の調査及び写真撮影を行い、報告書を提示すること
 - ・杭種、杭径調査 実線の範囲の基礎9mを撤去処分し、既存杭の種類、寸法の調査及び写真撮影を行い、報告書を提示すること
 - ・杭長調査 ×点の既存杭の位置を確認後、監督員の指示する位置に、探査孔の削孔GL-2mまで行うこと
 - 掘削した探査孔から速度検層(P波検層)を行い、既存杭全長(GL-22程度)の掘入れ深度調査を行うこと
 - 調査結果については、反応データ、測定記録等の既存杭の深度を推定した根拠となるものをまとめた報告書を提示すること
 - 調査後、深査孔をセメントミルク等で閉塞すること
 - ・埋戻し 調査後、場内掘削土で埋戻しを行うこと



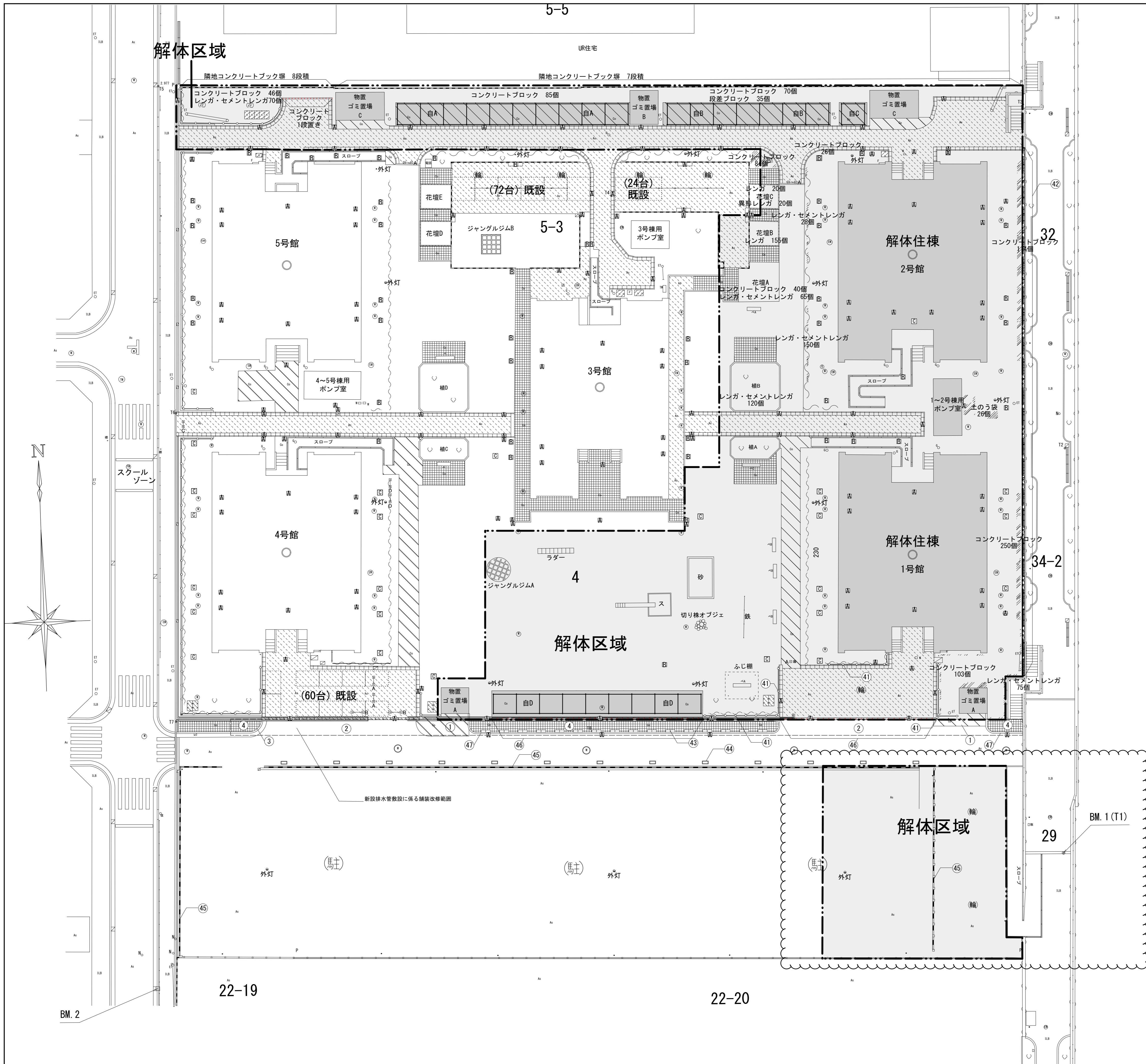
工事場所 大阪府大阪市城東区関目2丁目
 名称 古市住宅1号館建設工事
 図面名称 附近見取図・工事概要・配置図 製図 令和3年4月
 標準図番号 住棟 図面番号 No.901
 大阪府都市整備局 株式会社 遠藤剛生建築設計事務所
 住宅部建設課(建設設計グループ)



凡例	撤去詳細図番号
[Symbol]	撤去建物
[Symbol]	土間コンクリート舗装
[Symbol]	アスファルト舗装
[Symbol]	L型側溝及び会所
[Symbol]	コンクリート平板舗装(300角)
[Symbol]	雨水樹A 内法300×300 (コンクリート製蓋)撤去
[Symbol]	雨水樹B 内法450×450 (コンクリート製蓋)撤去
[Symbol]	雨水樹C 内法600×600 (コンクリート製蓋)撤去
[Symbol]	鉄板蓋
[Symbol]	下水マンホール (鑄鉄製鉄)
[Symbol]	電気マンホール (鑄鉄製鉄)
[Symbol]	ガスマンホール (鑄鉄製鉄)
[Symbol]	電話マンホール
[Symbol]	車止めA
[Symbol]	バリカーA
[Symbol]	ガードパイプ
[Symbol]	1号棟スロープ
[Symbol]	2号棟スロープ
[Symbol]	植え込みA
[Symbol]	植え込みB
[Symbol]	花壇A
[Symbol]	花壇B
[Symbol]	花壇C
[Symbol]	自転車置場A
[Symbol]	自転車置場B
[Symbol]	自転車置場C
[Symbol]	自転車置場D
[Symbol]	物置・ゴミ置場
[Symbol]	高架水槽
[Symbol]	外灯
[Symbol]	隣地コンクリートブロック塀 8段積
[Symbol]	隣地コンクリートブロック塀 7段積
[Symbol]	コンクリートブロック塀
[Symbol]	穴あきコンクリートブロック塀
[Symbol]	鉄棒
[Symbol]	ベンチA
[Symbol]	ベンチB
[Symbol]	ベンチC
[Symbol]	すべり台
[Symbol]	砂場
[Symbol]	ラダー
[Symbol]	ふじ棚
[Symbol]	ジャングルジムA
[Symbol]	切り株オブジェ
[Symbol]	防護柵
[Symbol]	メッシュフェンス
[Symbol]	車止めブロック
[Symbol]	プランター
[Symbol]	ネットフェンス
[Symbol]	コンクリートブロック
[Symbol]	平積みブロック (コンクリート・レンガ・セメントレンガ)
[Symbol]	低木・植栽
[Symbol]	リブ鋼(グレーチング)蓋付U型トラフ
[Symbol]	縁石ブロック

※解体区域内雨水排水管は全撤去とし、排水改修図参照とする。
ただし、南飛び地駐車場内は別途。

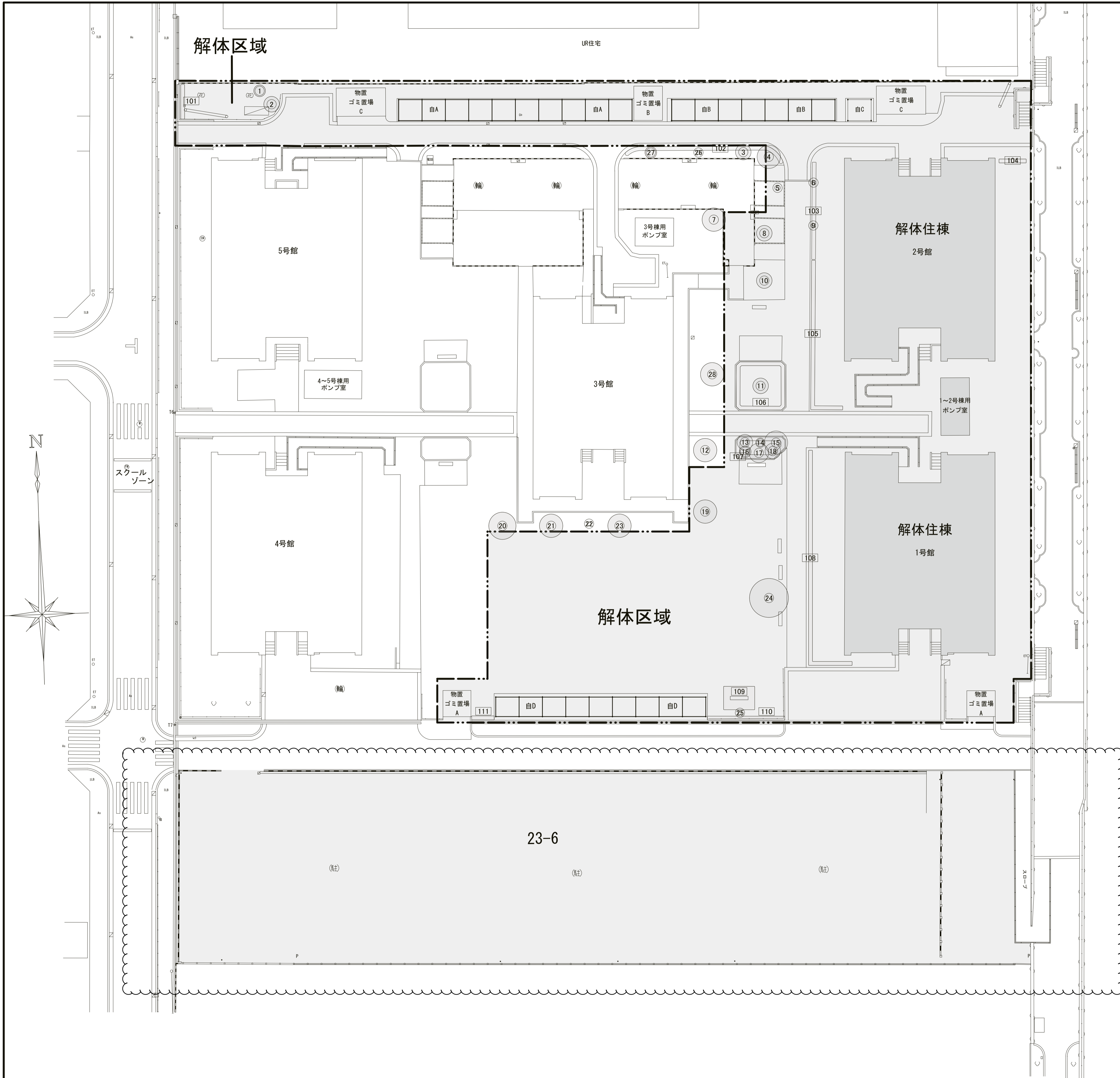
名称	古市住宅1号館建設工事		原1図面No.12
図面名称	撤去配置図	製図	令和3年4月
標準図番号	住棟	図面番号	No.903
大阪市都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所	



凡例	撤去詳細図番号
[Symbol]	撤去建物
[Symbol]	土間コンクリート舗装
[Symbol]	アスファルト舗装
[Symbol]	L型側溝及び会所
[Symbol]	コンクリート平板舗装(300角)
[Symbol]	雨水樹A 内法300×300 (コンクリート製蓋)撤去
[Symbol]	雨水樹B 内法450×450 (コンクリート製蓋)撤去
[Symbol]	雨水樹C 内法600×600 (コンクリート製蓋)撤去
[Symbol]	鉄板蓋
[Symbol]	下水マンホール (鑄鉄製鉄)
[Symbol]	電気マンホール (鑄鉄製鉄)
[Symbol]	ガスマンホール (鑄鉄製鉄)
[Symbol]	電話マンホール
[Symbol]	車止めA
[Symbol]	バリカーA
[Symbol]	ガードパイプ
[Symbol]	1号棟スロープ
[Symbol]	2号棟スロープ
[Symbol]	植え込みA
[Symbol]	植え込みB
[Symbol]	花壇A
[Symbol]	花壇B
[Symbol]	花壇C
[Symbol]	自転車置場A
[Symbol]	自転車置場B
[Symbol]	自転車置場C
[Symbol]	自転車置場D
[Symbol]	物置・ゴミ置場
[Symbol]	高架水槽
[Symbol]	外灯
[Symbol]	隣地コンクリートブロック塀 8段積
[Symbol]	隣地コンクリートブロック塀 7段積
[Symbol]	コンクリートブロック塀
[Symbol]	穴あきコンクリートブロック塀
[Symbol]	鉄棒
[Symbol]	ベンチA
[Symbol]	ベンチB
[Symbol]	ベンチC
[Symbol]	すべり台
[Symbol]	砂場
[Symbol]	ラダー
[Symbol]	ふじ棚
[Symbol]	ジャングルジムA
[Symbol]	切り株オブジェ
[Symbol]	防護柵
[Symbol]	メッシュフェンス
[Symbol]	車止めブロック
[Symbol]	プランター
[Symbol]	ネットフェンス
[Symbol]	コンクリートブロック (コンクリート・レンガ・セメントレンガ)
[Symbol]	平積みブロック (コンクリート・レンガ・セメントレンガ)
[Symbol]	低木・植栽
[Symbol]	リブ鋼(グレーチング)蓋付U型トラフ
[Symbol]	緑石ブロック

※解体区域内雨水排水管は全撤去とし、排水改修図参照とする。
ただし、南飛び地駐車場内は別途。

名称	古市住宅1号館建設工事	図面番号	A1
図面名称	撤去配置図	製図	令和3年4月
標準図番号		図面番号	No. 903
大坂市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 遠藤衛生建築設計事務所	



撤去樹木一覧表 (単位: m)

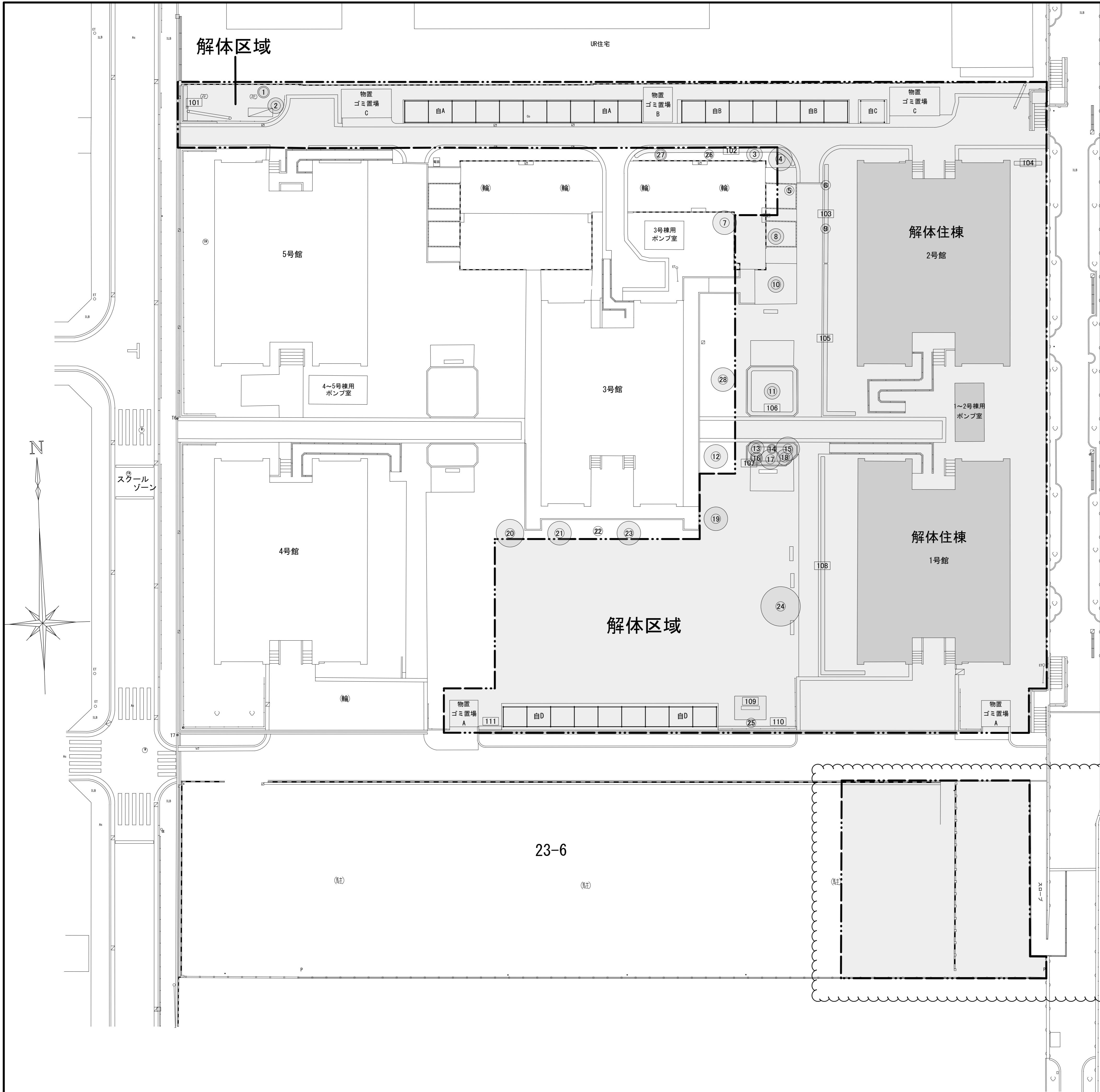
記号	樹種	H(高さ)	C(幹径)	W(枝張)	備考
①	ヤマモモ	3.0	0.18	1.5	
②	ミカン	4.0	0.18	2.0	
③	クスノキ	3.0	0.20	2.0	消防車進入経路につき撤去
④	ケヤキ	5.0	0.30	3.0	
⑤	ナンテン	1.7	0.10	0.7	
⑥	シャリンバイ	1.5	0.10	0.7	
⑦	ケヤキ	4.0	0.30	3.0	消防車進入経路につき撤去
⑧	ヤマモモ	3.0	0.16	2.0	
⑨	イブキ	1.5	0.10	0.7	
⑩	ケヤキ	3.5	0.25	2.5	
⑪	ソテツ	4.0	0.13	2.0	
⑫	ケヤキ	6.0	0.38	3.0	
⑬	ヤマモモ	3.0	0.08	2.0	
⑭	ソテツ	1.7	0.32	1.0	
⑮	クスノキ	3.5	0.32	3.0	
⑯	アオキ	2.0	0.35	1.5	
⑰	ミカン	3.0	0.11	2.5	
⑱	モチ	2.5	0.05	1.5	
⑲	ケヤキ	5.5	0.46	3.0	
⑳	ケヤキ	6.5	0.41	3.5	消防車進入経路につき撤去
㉑	イブキ	4.0	0.29	3.0	
㉒	ケヤキ	0.4	0.29		切り株
㉓	イブキ	4.0	0.27	3.0	
㉔	サクラ	4.5	0.27	5.0	
㉕	ケヤキ	2.0	0.43		切り株
㉖	クスノキ	0.4	0.5		切り株
㉗	アオキ	3.0	0.47	1.5	
㉘	ケヤキ	6.0	0.90	3.0	消防車進入経路につき撤去

撤去樹木一覧表 (群生) (単位: m)

記号	種別	H(高さ)	(W×V)	群生	面積	備考
101	プリベツ	1.2	0.5	4.5	2.2	
102	プリベツ	1.0	2.0	2.0	1.0	
103	シャリンバイ	1.5	0.6	12.5	6.2	
104	クチナシ	1.5	0.5	3.5	1.8	
105	クチナシ	1.5	4.1	19.2	11.5	
106	クチナシ	1.5	6.0	6.0	11.0	
107	プリベツ	1.0	6.0	3.0	7.5	
108	クチナシ	1.5	5.6	27.6	16.4	
109	フジ	3.2	4.0	3.0	12.0	
110	プリベツ	1.8	1.0	0.5	0.5	
111	プリベツ	1.8	3.0	0.5	1.5	

樹木は全て抜根のこと
群生: 5本/m²

名称	古市住宅1号館建設工事			図面番号	A1
図面名称	撤去樹木配置図・撤去樹木リスト	製図	令和3年4月		
標準図番号	住棟	図面番号	No. 904		
大阪府都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所			



撤去樹木一覧表 (単位: m)

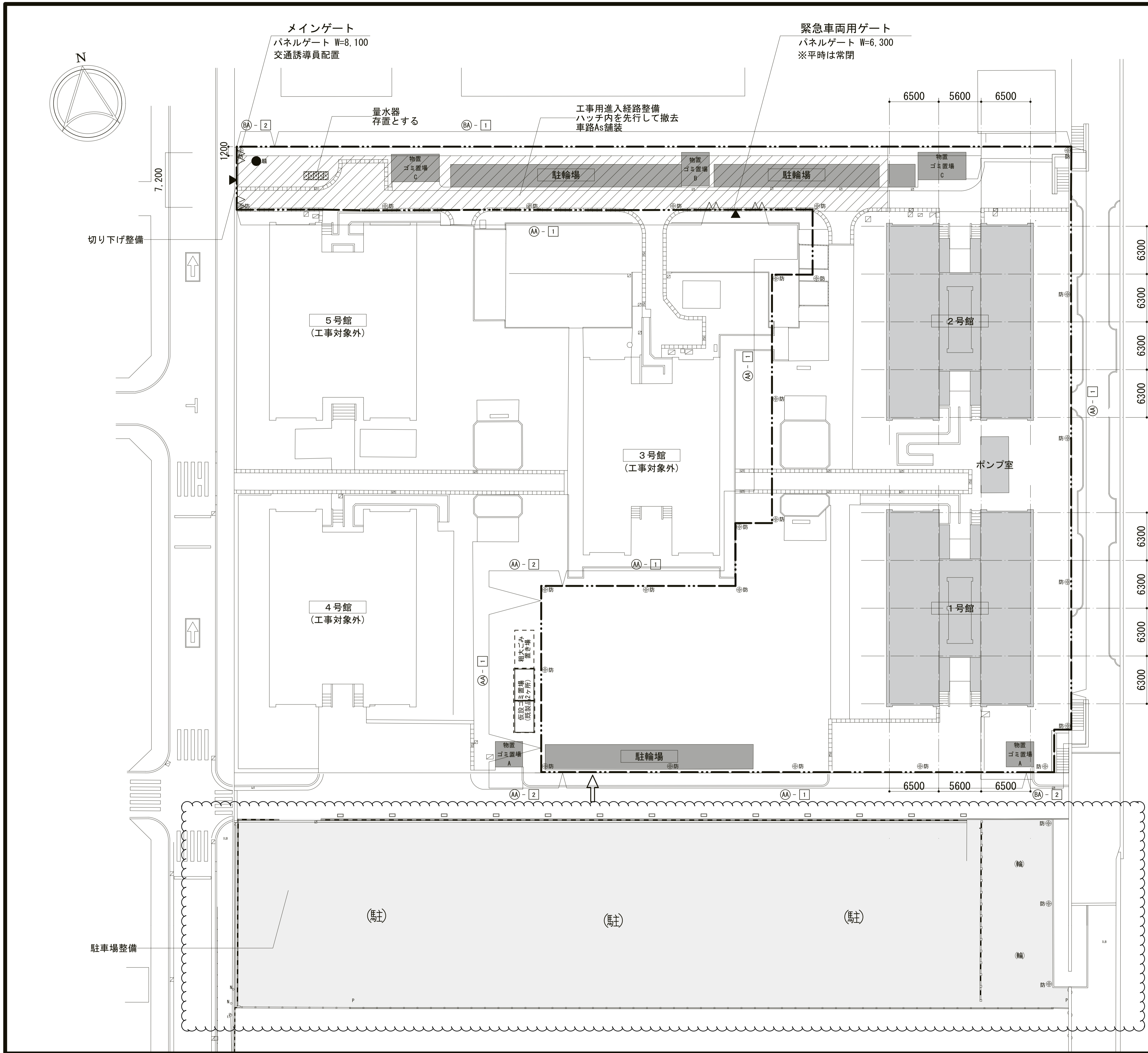
記号	樹種	H(高さ)	C(幹径)	W(枝張)	備考
①	ヤマモモ	3.0	0.18	1.5	
②	ミカン	4.0	0.18	2.0	
③	クスノキ	3.0	0.20	2.0	消防車進入経路につき撤去
④	ケヤキ	5.0	0.30	3.0	
⑤	ナンテン	1.7	0.10	0.7	
⑥	シャリンバイ	1.5	0.10	0.7	
⑦	ケヤキ	4.0	0.30	3.0	消防車進入経路につき撤去
⑧	ヤマモモ	3.0	0.16	2.0	
⑨	イブキ	1.5	0.10	0.7	
⑩	ケヤキ	3.5	0.25	2.5	
⑪	ソテツ	4.0	0.13	2.0	
⑫	ケヤキ	6.0	0.38	3.0	
⑬	ヤマモモ	3.0	0.08	2.0	
⑭	ソテツ	1.7	0.32	1.0	
⑮	クスノキ	3.5	0.32	3.0	
⑯	アオキ	2.0	0.35	1.5	
⑰	ミカン	3.0	0.11	2.5	
⑱	モチ	2.5	0.05	1.5	
⑲	ケヤキ	5.5	0.46	3.0	
⑳	ケヤキ	6.5	0.41	3.5	消防車進入経路につき撤去
㉑	イブキ	4.0	0.29	3.0	
㉒	ケヤキ	0.4	0.29		切り株
㉓	イブキ	4.0	0.27	3.0	
㉔	サクラ	4.5	0.27	5.0	
㉕	ケヤキ	2.0	0.43		切り株
㉖	クスノキ	0.4	0.5		切り株
㉗	アオキ	3.0	0.47	1.5	
㉘	ケヤキ	6.0	0.90	3.0	消防車進入経路につき撤去

撤去樹木一覧表 (群生) (単位: m)

記号	種別	H(高さ)	W(群生)	面積	備考
101	プリベツ	1.2	0.5	4.5	2.2
102	プリベツ	1.0	2.0	2.0	1.0
103	シャリンバイ	1.5	0.6	12.5	6.2
104	クチナシ	1.5	0.5	3.5	1.8
105	クチナシ	1.5	4.1	19.2	11.5
106	クチナシ	1.5	6.0	6.0	11.0
107	プリベツ	1.0	6.0	3.0	7.5
108	クチナシ	1.5	5.6	27.6	16.4
109	フジ	3.2	4.0	3.0	12.0
110	プリベツ	1.8	1.0	0.5	0.5
111	プリベツ	1.8	3.0	0.5	1.5

樹木は全て抜根のこと
群生: 5本/m²

名称	古市住宅1号館建設工事			図面番号	A1
図面名称	撤去樹木配置図・撤去樹木リスト	製図	令和3年4月		
標準図番号	住棟	図面番号	No. 904		
大阪府都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)		設計者	株式会社 遠藤剛生建築設計事務所		



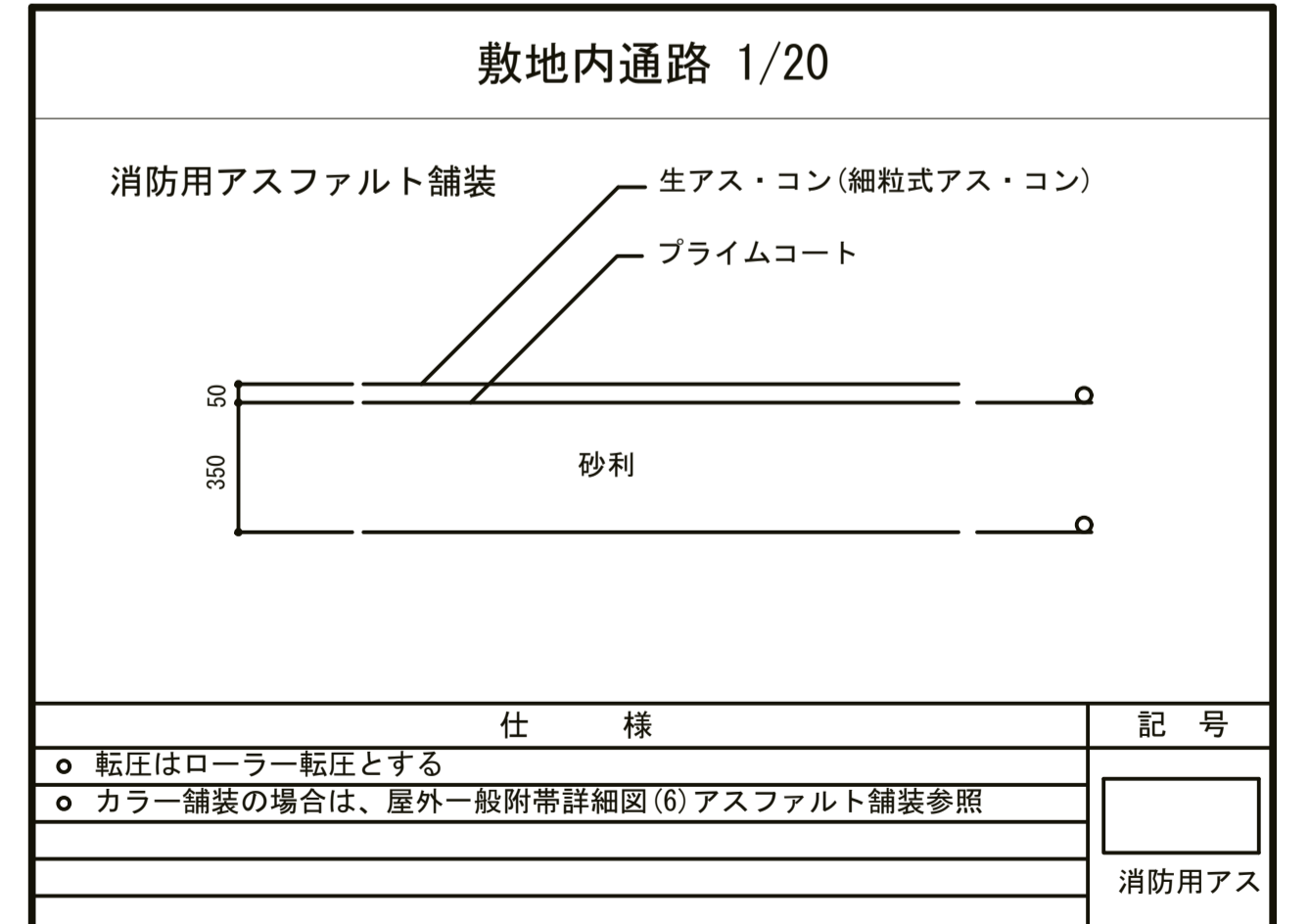
ステップ (1) : 仮設ゴミ置場設置・仮設駐輪場設置
 → 仮囲い
 → 既設ゴミ置場解体・北側通路先行整備

凡例	
	工事範囲
	先行整備時撤去付属建物
	撤去建物
AA-1	鋼板塀AA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=3000)
AA-2	鋼板塀AA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=3000)
BA-1	鋼板塀BA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
BA-2	鋼板塀BA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
⊕防	防犯灯
▲▲	パネルゲート
●騒	騒音振動計 (設置位置については監督職員と協議すること)
➡	くぐり戸

鋼板塀概要

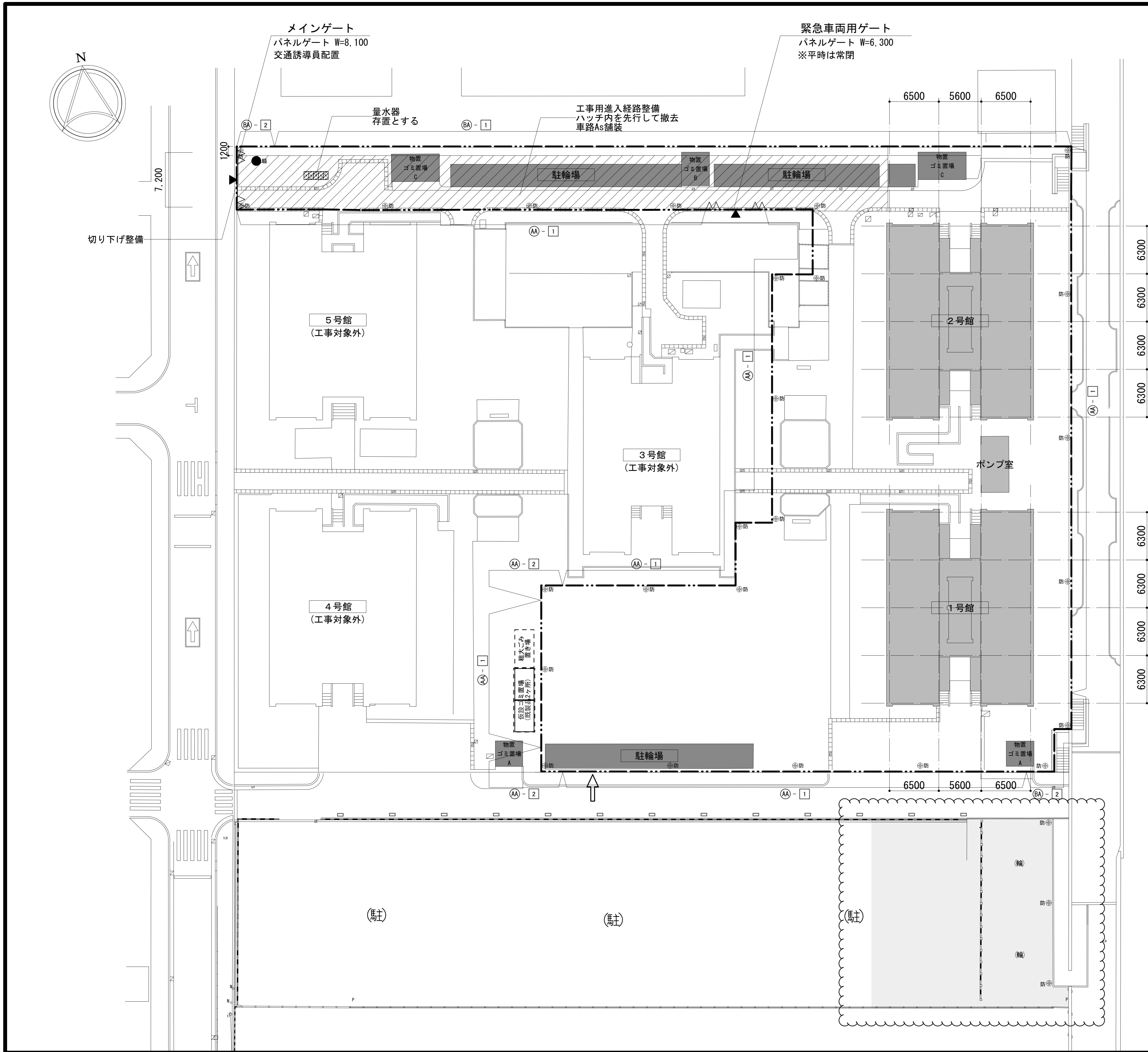
障害となる部分はシート養生の上、先行解体を行うこと。
 ・本工程において、くぐり戸(W900×H1500)1箇所設置すること。
 尚、位置等については、監督職員と協議のこと。

交通規制標識等	
	一方通行



S=1/250

名称	古市住宅1号館建設工事		原寸図番付
図面名称	総合仮設計画ステップ図(1)	製 図	A1
標準図番号	住 様	図面番号	令和 3年 4月
		No. 905	
大阪府都市整備局		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所	
住宅部建設課 (建設設計グループ)			



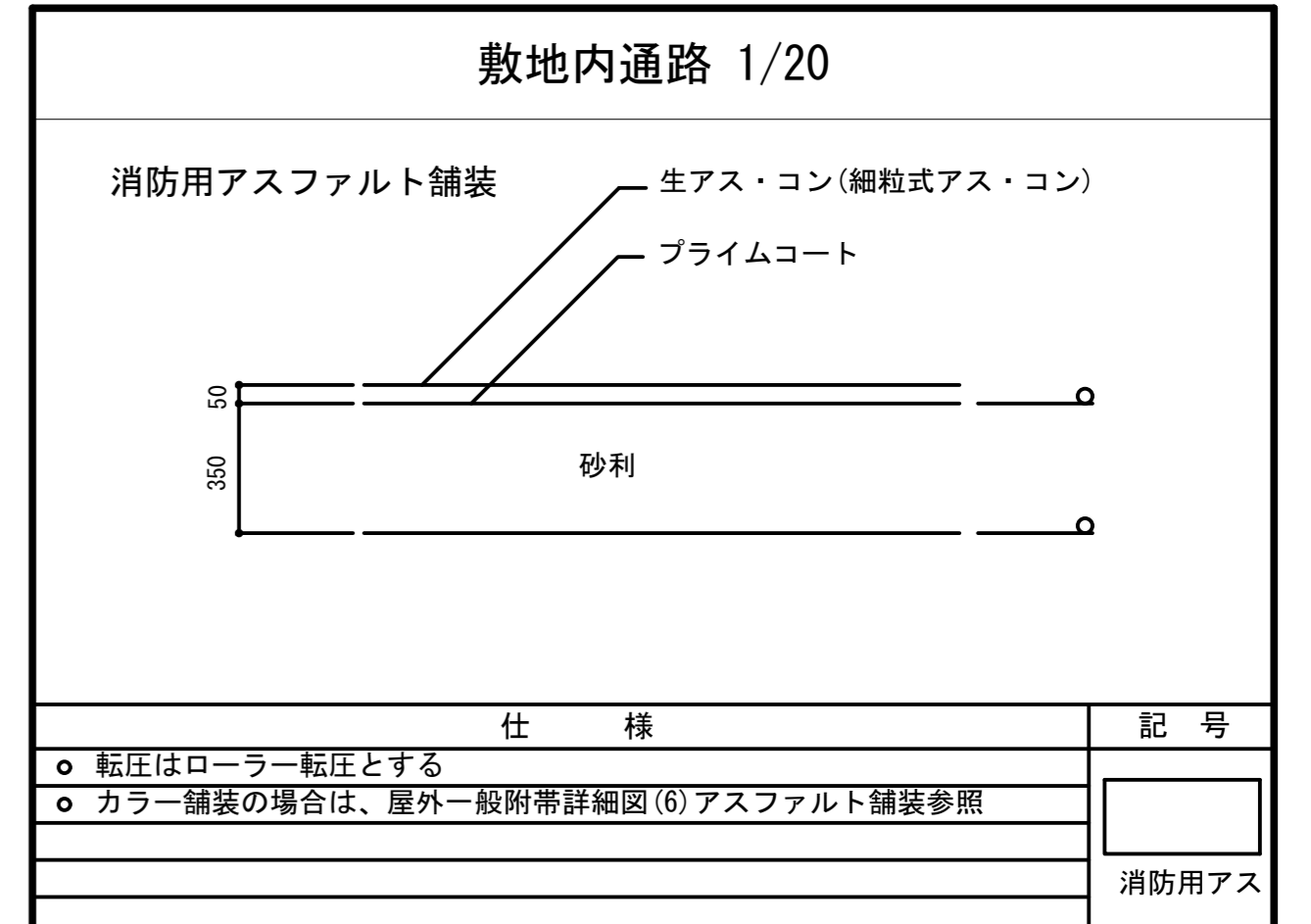
ステップ (1) : 仮設ゴミ置場設置・仮設駐輪場設置
→ 仮囲い
→ 既設ゴミ置場解体・北側通路先行整備

凡例	
	工事範囲
	先行整備時撤去付属建物
	撤去建物
AA-1	鋼板塀AA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=3000)
AA-2	鋼板塀AA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=3000)
BA-1	鋼板塀BA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
BA-2	鋼板塀BA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
防	防犯灯
▲▲	パネルゲート
●	騒音振動計 (設置位置については監督職員と協議すること)
➡	くぐり戸

鋼板塀概要

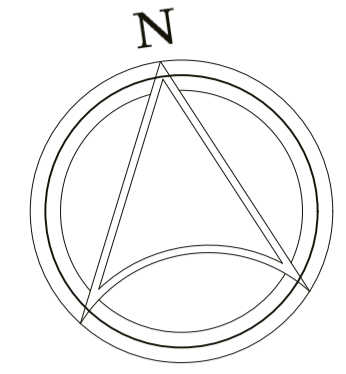
障害となる部分はシート養生の上、先行解体を行うこと。
・本工事において、くぐり戸(W900×H1500)1箇所設置すること。
尚、位置等については、監督職員と協議のこと。

交通規制標識等	
	一方通行



S=1/250

名称	古市住宅1号館建設工事			図面番号	A1
図面名称	総合仮設計画ステップ図(1)	製	図	令和3年4月	
標準図番号	仕様	図面番号	No. 905		
大阪市都市整備局 住宅部建設課(建設設計グループ)			株式会社 遠藤興生建築設計事務所		



メインゲート
パネルゲート W=8,100
交通誘導員配置

緊急車両用ゲート
パネルゲート W=6,300
※平時は常閉

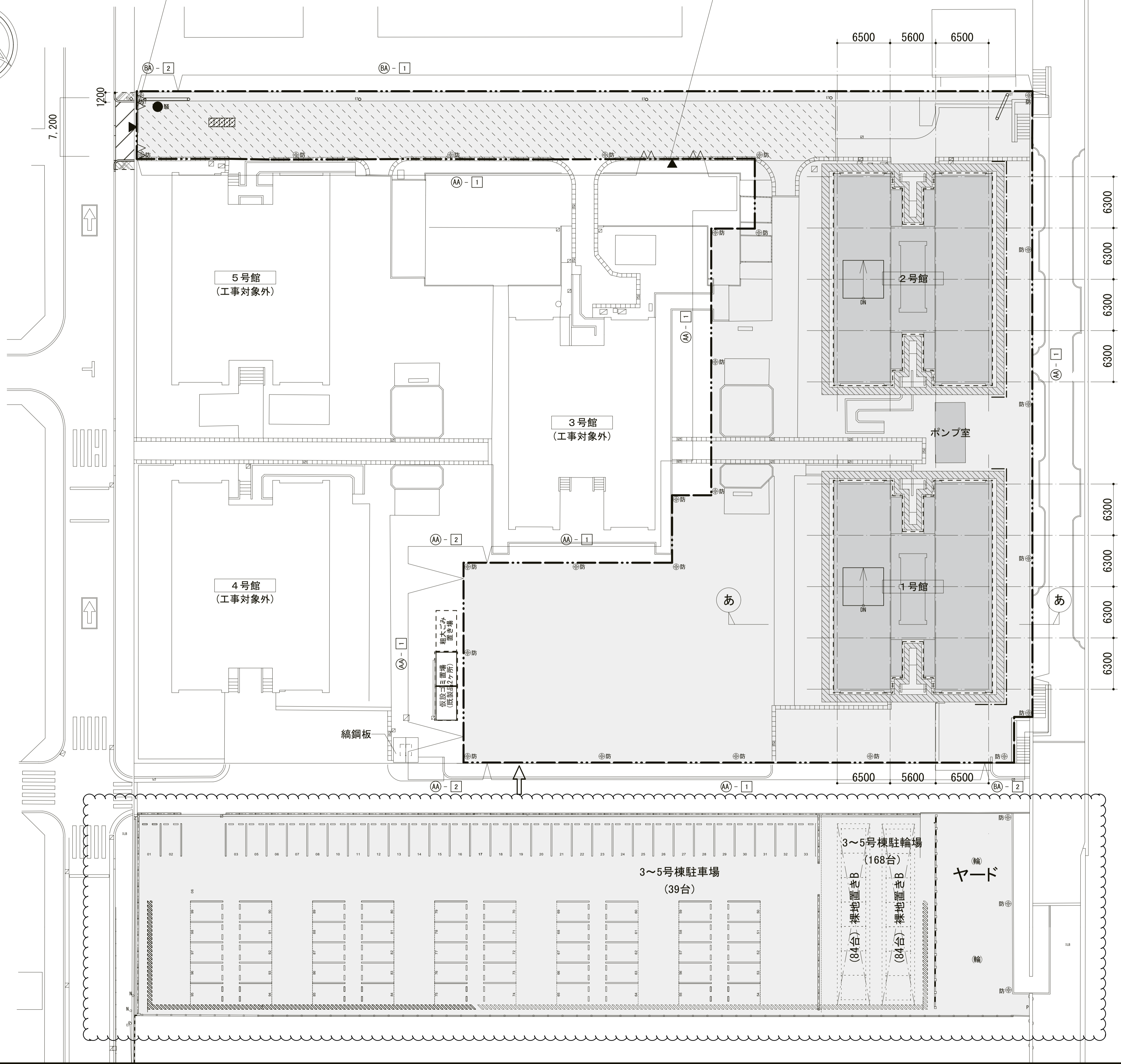
ステップ (2) : 住棟解体

凡例	
	工事範囲
	撤去建物
	鋼板塀AA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀AA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀BA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
	鋼板塀BA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
	防犯灯
	パネルゲート
	手すり先行枠組足場+防音パネル貼り (解体後撤去) パラペット天端より、1.7m以上立ち上げること
	ブラケット足場 (アスベスト除去時、階ごとに設置)
	養生防護棚 (3段)
	騒音振動計 (設置位置については監督職員と協議すること)
	くぐり戸
	アスファルト舗装

鋼板塀概要

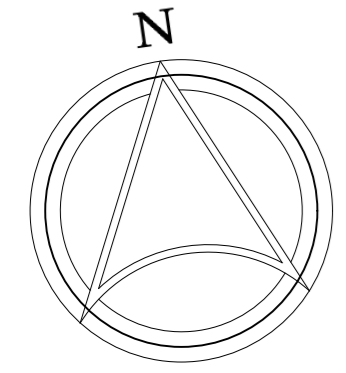
障害となる部分はシート養生の上、先行解体を行うこと。
・本工事において、くぐり戸(W900×H1500)1箇所設置すること。
尚、位置等については、監督職員と協議のこと。

交通規制標識等	
	一方通行



S=1/250

名称	古市住宅1号館建設工事			図面番号	A1
図面名称	総合仮設計画ステップ図(2)	製図	令和3年4月		
標準図番号	住棟	図面番号	No. 906		
大阪都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		設計事務所	株式会社 遠藤剛生建築設計事務所		



メインゲート
パネルゲート W=8,100
交通誘導員配置

緊急車両用ゲート
パネルゲート W=6,300
※平時は常閉

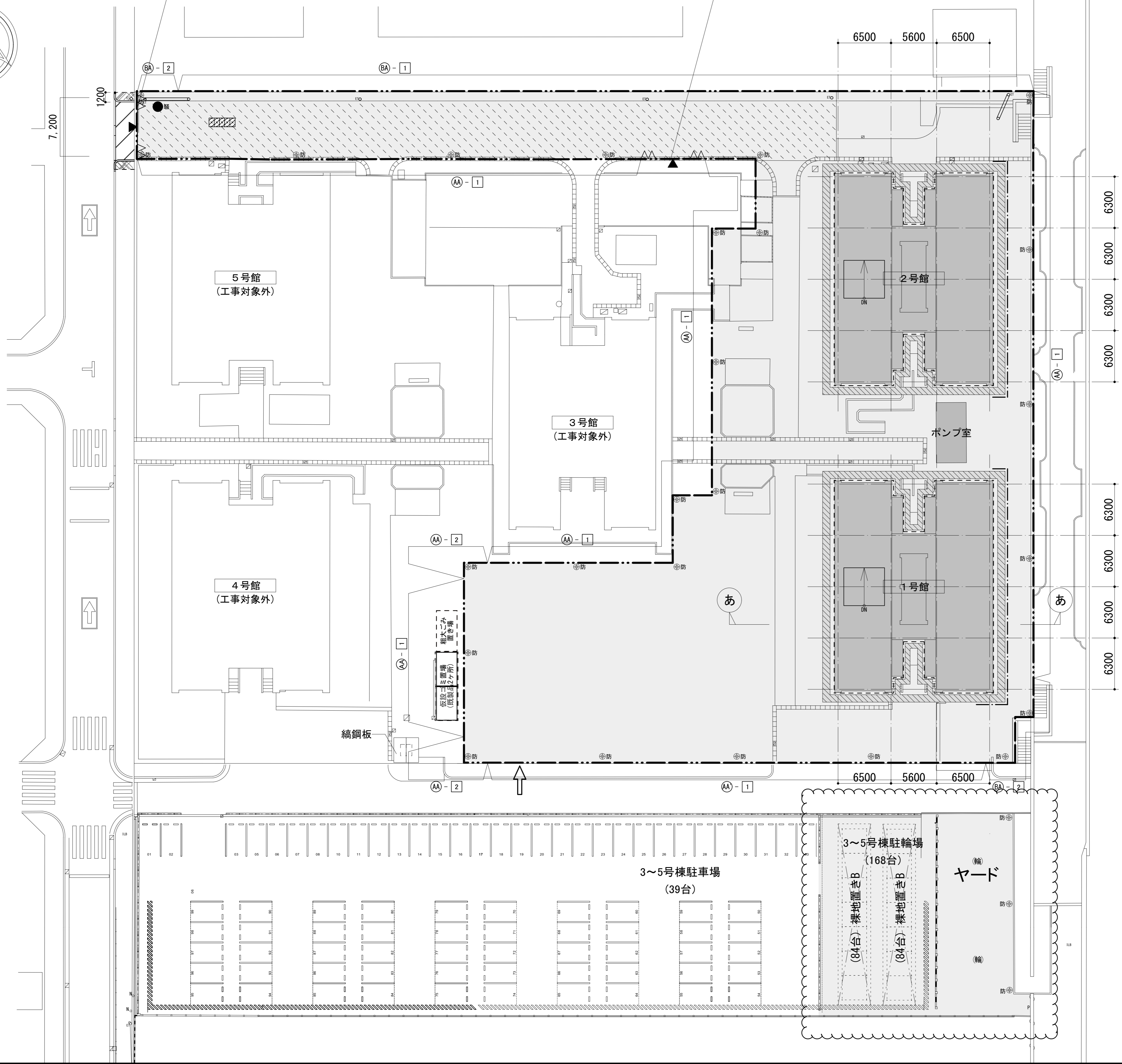
ステップ (2) : 住棟解体

凡例	
	工事範囲
	撤去建物
	鋼板塀AA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀AA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀BA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
	鋼板塀BA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防音シートは撤去
	防犯灯
	パネルゲート
	手すり先行枠組足場+防音パネル貼り (解体後撤去) パラペット天端より、1.7m以上立ち上げること
	ブラケット足場 (アスベスト除去時、階ごとに設置)
	養生防護棚 (3段)
	騒音振動計 (設置位置については監督職員と協議すること)
	くぐり戸
	アスファルト舗装

鋼板塀概要

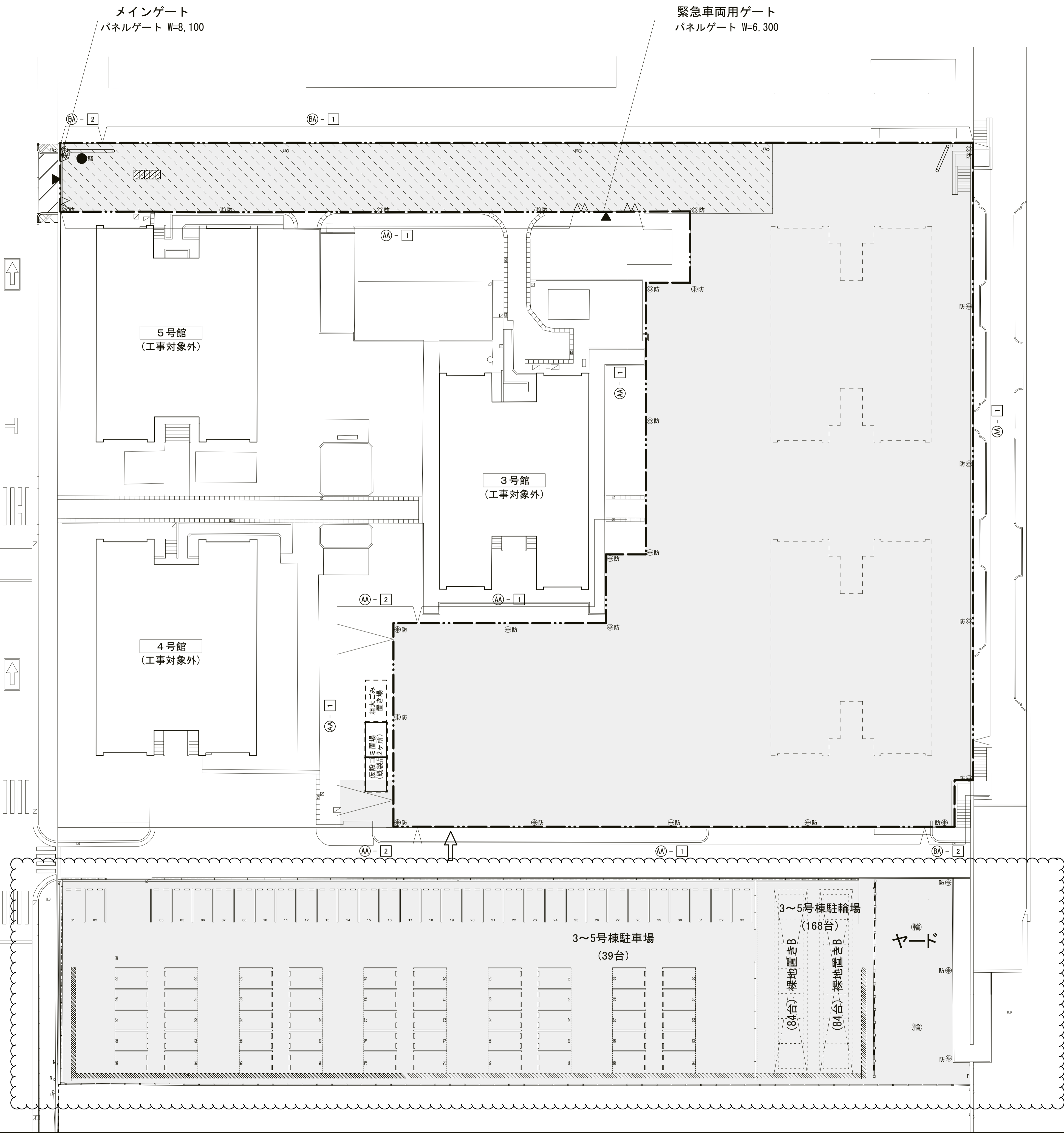
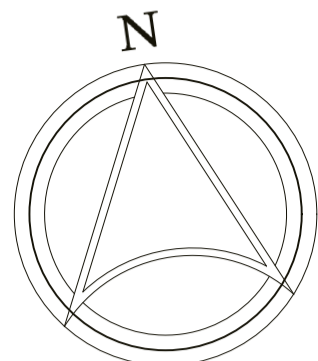
障害となる部分はシート養生の上、先行解体を行うこと。
・本工事に於いて、くぐり戸(W900×H1500)1箇所設置すること。
尚、位置等については、監督職員と協議のこと。

交通規制標識等	
	一方通行



S=1/250

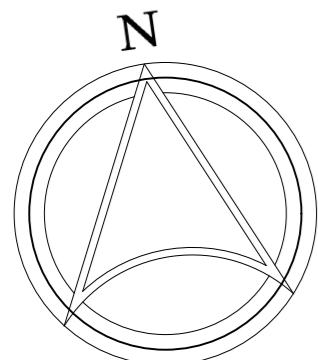
名称	古市住宅1号館建設工事		図面番号	A1
図面名称	総合仮設計画ステップ図(2)	製図	令和3年4月	
標準図番号	住棟	図面番号	No. 906	
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			株式会社 通商衛生建築設計事務所	



凡例	
	本工事範囲
	鋼板塀AA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀AA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀BA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防水シートは撤去
	鋼板塀BA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防水シートは撤去
	騒音振動計 (設置位置については監督職員と協議すること)
	防犯灯
	パネルゲート
	くぐり戸
	アスファルト舗装

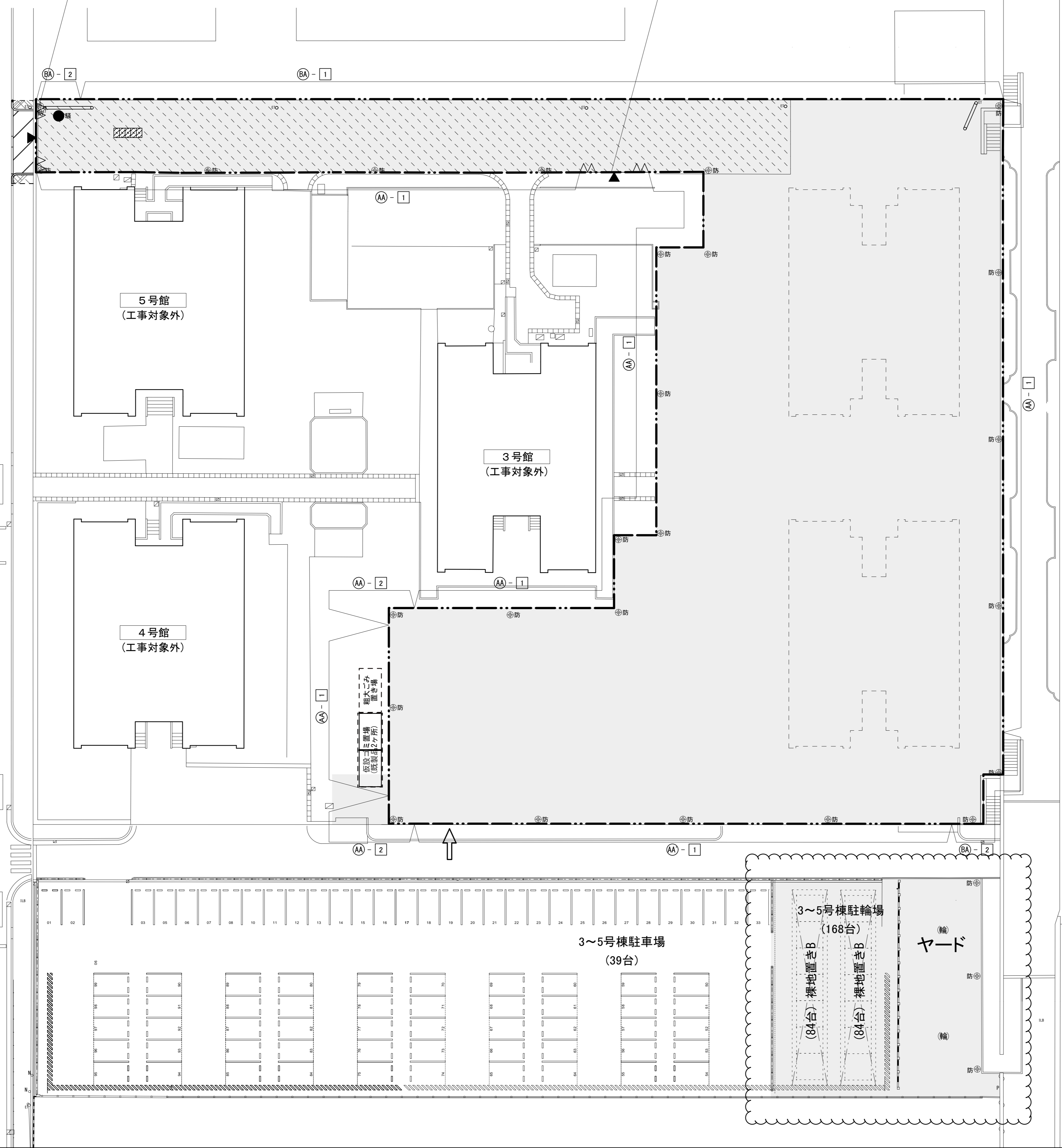
S=1/250

名称	古市住宅1号館建設工事		図面番号	A1
図面名称	工事完了図	製図	令和 3年 4月	
標準図番号	住棟	住棟	図面番号	907
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所		



メインゲート
パネルゲート W=8,100

緊急車両用ゲート
パネルゲート W=6,300



凡例	
	本工事範囲
	鋼板塀AA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀AA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=3000)
	鋼板塀BA-1 鋼板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防水シートは撤去
	鋼板塀BA-2 透明板仕様 (特記なき限りH=5000) 撤去完了後、上部2m単管・防水シートは撤去
	騒音振動計 (設置位置については監督職員と協議すること)
	防犯灯
	パネルゲート
	くぐり戸
	アスファルト舗装

S=1/250

名称	古市住宅1号館建設工事	図面番号	A1
図面名称	工事完了図	製図	令和3年4月
標準図番号	住棟	図面番号	No.907
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所	

その2工事 細目別内訳

主体工事		土工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	(現状平均GL=設計GL-220)					
根切り	布つぼ堀0m < H 1.0m	247	m3			
根切り	布つぼ堀1.0m < H 2.0m	312	m3			
根切り	布つぼ堀2.0m < H 3.0m	2,355	m3			
床付け	布つぼ掘り -	579	m ²			
埋戻し	発生土 布つぼ掘部 B種	1,419	m3			
盛土	発生土 建物内部 B種	29.3	m3			
仮置土運搬	往復 - 工区内 -	1,448	m3			
建設発生土運搬費	場外自由処分	1,413	m3			
建設発生土運搬費	場外自由処分(汚染土)	52.3	m3			

その2工事 細目別内訳

主体工事		土工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土処分費	場外自由処分	1,413	m3			
建設発生土処分費	場外自由処分(汚染土)	52.3	m3			
土工機械運搬		1	式			
山留め	ｼｰﾄﾞﾙ 型(圧入工法) L=12000	1	式			
小計						
(地中障害物撤去)						
PC杭引抜き	オルカ-ｼﾝｸﾞ 工法 計41回 L=22.0m 流動化処理土埋戻し	1	式			
PC杭引抜後 破砕		173	m3			
PC杭取壊し	PC杭500 L=530	19	か所			
PC杭取壊し	PC杭500 L=680	1	か所			

その2工事 細目別内訳

主体工事		土工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	(現状平均GL=設計GL-220)					
根切り	布つぼ堀0m < H 1.0m	247	m3			
根切り	布つぼ堀1.0m < H 2.0m	312	m3			
根切り	布つぼ堀2.0m < H 3.0m	2,355	m3			
床付け	布つぼ掘り -	579	m ²			
埋戻し	発生土 布つぼ掘部 B種	1,419	m3			
盛土	発生土 建物内部 B種	29.3	m3			
仮置土運搬	往復 - 工区内 -	1,448	m3			
建設発生土運搬費	場外自由処分	1,413	m3			
建設発生土運搬費	場外自由処分(汚染土)	52.3	m3			

その2工事 細目別内訳

主体工事		土工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土処分費	場外自由処分	1,413	m3			
建設発生土処分費	場外自由処分(汚染土)	52.3	m3			
土工機械運搬		1	式			
山留め	ｼｰﾄﾞﾙ 型(圧入工法) L=12000	1	式			
小計						
(地中障害物撤去)						
PC杭引抜き	オルカ-ｼﾝｸﾞ 工法 計41回 L=22.0m 撤去後 セメント埋戻し	1	式			
PC杭引抜後 破砕		173	m3			
PC杭取壊し	PC杭500 L=530	19	か所			
PC杭取壊し	PC杭500 L=680	1	か所			